

平成 28 年度 第 2 回つくばみらい市学区審議会

みらい平地区の小学校区及びみらい平地区の中学校区の検討に関する資料

平成 28 年 11 月 17 日

1. みらい平地区の小中学生の現状について

1) みらい平地区のこれまでの児童数・生徒数

①みらい平地区における児童・生徒の通学環境の変遷

みらい平地区においては、平成 17 年にみらい平のまち開きが行われて以降、児童数の増加とともに隣接地区の学校への通学区域を設定してきました。当初は小張小及び谷原小の学校区で対応してきましたが、増加に対応できなくなった平成 24 年に隣接地区の4地区（小張小・谷原小・十和小・福岡小）に通学区域を拡大し対応してきました。

その後、平成 27 年に陽光台小学校が開校したことにより、隣接の4地区への通学制度は廃止され、みらい平地区の児童は陽光台小の学区となることとなりました。

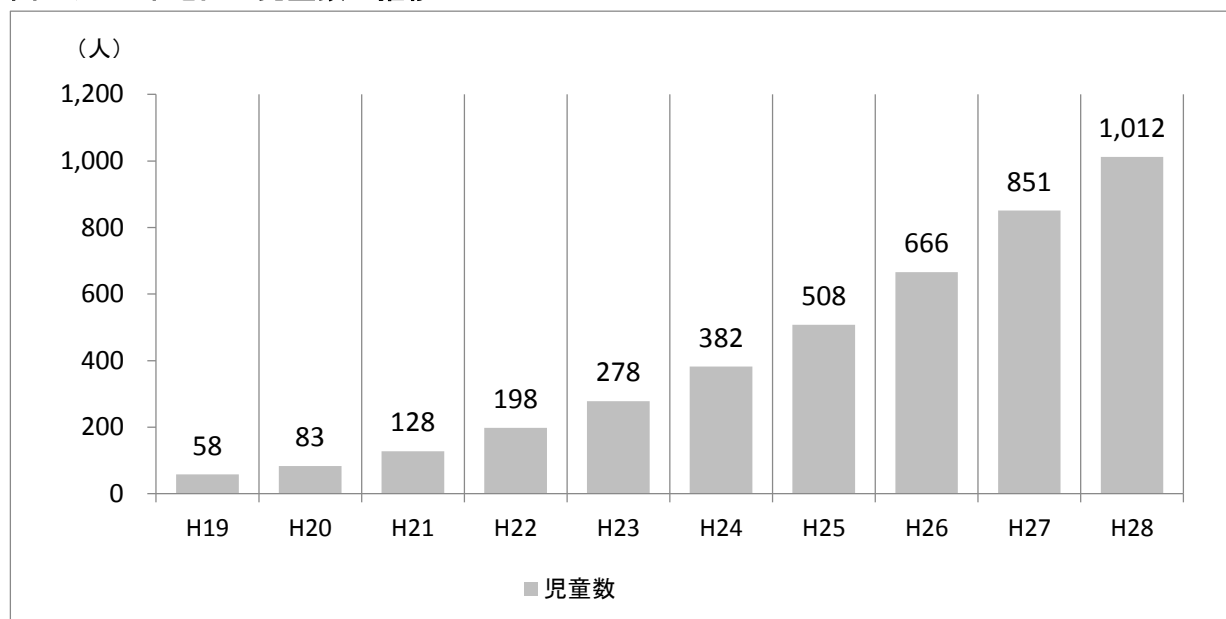
一方、中学生については、つくばみらい市の誕生とともに、みらい平地区の生徒は伊奈中及び谷和原中への選択制となりました。

	出来事	小学校	中学校
平成 17 年 8 月	つくばエクスプレス開通（みらい平駅開設）		
平成 17 年 10 月	みらい平地区の宅地分譲開始		
平成 18 年 3 月	つくばみらい市誕生	みらい平地区の児童は小張小及び谷原小の選択制となる。	みらい平地区の生徒は伊奈中及び谷和原中の選択制となる。
平成 24 年 4 月		小張小の児童が過大となり、暫定的にみらい平地区を小張小、谷原小、十和小、福岡小の通学区域に変更となる。	
平成 26 年 8 月		（仮称）富士見ヶ丘小の設置の検討	
平成 27 年 4 月		陽光台小学校開校。 みらい平地区が陽光台小の通学区域となり、これまで、小張小、谷原小、十和小、福岡小に通っていたみらい平地区の児童は陽光台小への通学となる。	

図 みらい平地区の通学区域の変遷

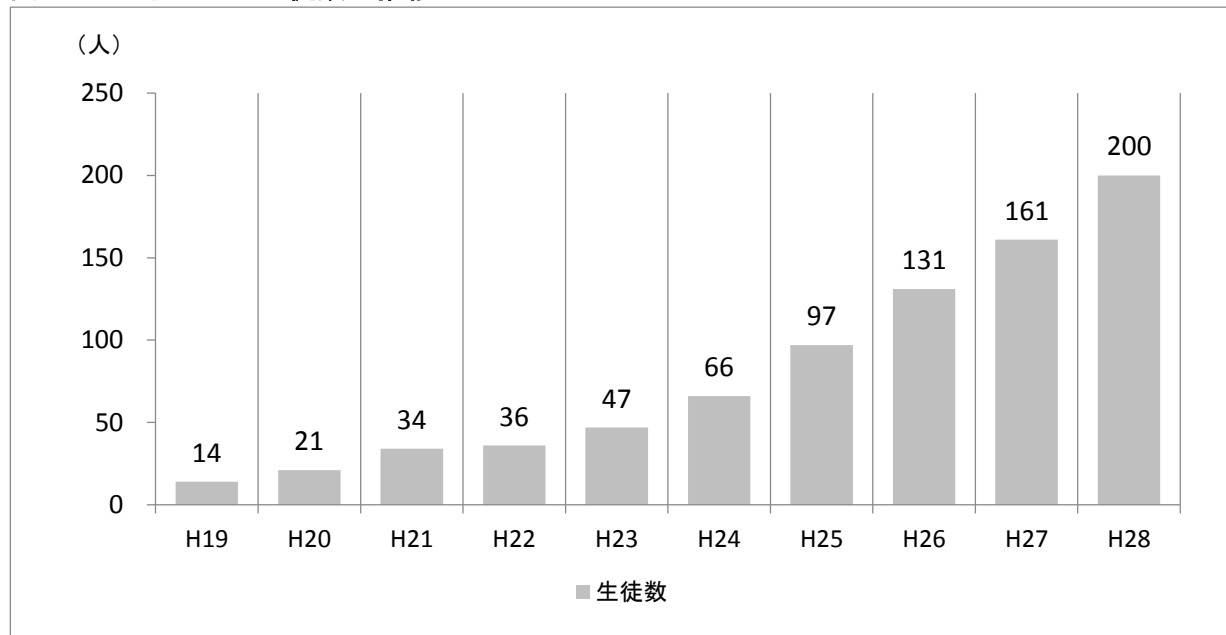


図 みらい平地区の児童数の推移



※住民基本台帳人口による。

図 みらい平地区の生徒数の推移



※住民基本台帳人口による。

②みらい平地区における児童の通学環境の現状

平成 28 年 5 月現在、みらい平地区に居住する小学生児童は陽光台小学校に通っている状況です。

ア) 陽光台小学校における児童数の現状と通学区の現状

陽光台小学校の通学児童数は平成 28 年 5 月現在において、1,042 人となっており、学級数は 33 学級となっています。

また、学区外から通う指定校変更の申請を行って通学している児童数は、54 人となっています。

表-陽光台小通学児童数(指定校変更児童を含む)

(※学校教育課)

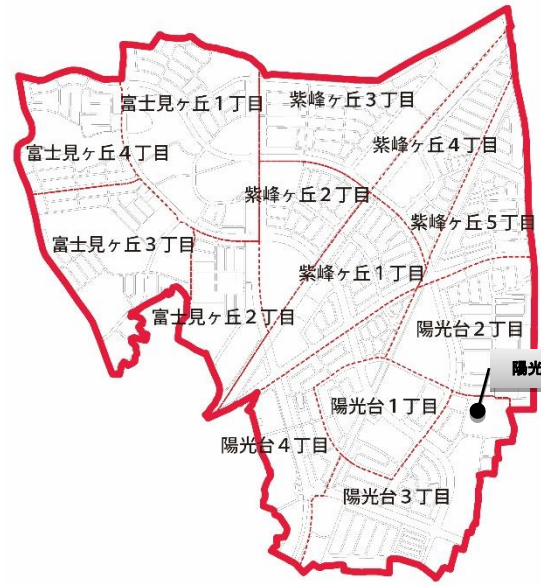
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳		
2015. 5. 1 (H27)	206 人	186 人	161 人	134 人	100 人	64 人	851 人	26 学級
2016. 5. 1 (H28)	227 人	213 人	198 人	162 人	143 人	99 人	1,042 人	33 学級

※実際に通学している児童数は、指定校変更による児童数が含まれる。また、住民基本台帳による児童数は、私立や市外へ通学する児童数も含まれるため、実際の通学児童数と住民基本台帳による児童数では異なる値となる。

表 陽光台小指定校変更児童数(2016. 5. 1 (H28))

(※学校教育課)

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計
	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	
全体	11 人	13 人	6 人	12 人	7 人	5 人	54 人
(内小張地区)	10 人	13 人	6 人	10 人	7 人	5 人	51 人
(内福岡地区)	1 人	0 人	0 人	2 人	0 人	0 人	3 人

	通学区域	通学区域図
小学校	陽光台小学区：陽光台一丁目、陽光台二丁目、 陽光台三丁目、陽光台四丁目、紫峰ヶ丘一丁目、 紫峰ヶ丘二丁目、紫峰ヶ丘三丁目、紫峰ヶ丘四 丁目、紫峰ヶ丘五丁目、富士見ヶ丘一丁目、富 士見ヶ丘二丁目、富士見ヶ丘三丁目、富士見ヶ 丘四丁目	

イ) みらい平地区における学校規模の状況

みらい平地区における学校規模の状況は以下のとおりです。なお、(仮称)富士見ヶ丘小学校については、平成30年4月開校を目指して推進しているところです。

◆表-陽光台小及び(仮称)富士見ヶ丘小の概要

項目	陽光台小		(仮称)富士見ヶ丘小
	改修前	改修後(H29以降)	開校時
校地面積	25,001(m ²)	25,001(m ²)	29,947(m ²)
校舎延床面積(合計)	9,557(m ²)	9,557(m ²)	8,000(m ²)未満
普通教室数・・・①	30 教室	40 教室	24 教室
(児童数)	(1,050 人)	(1,400 人)	(840 人)
特別支援教室数	2 教室	3 教室	3 教室
特別教室数	8 教室	3 教室	13 教室
(うち転用可能教室数)・・・②	3 教室 多目的室(1) 視聴覚室(1) 地域サポートセンター(1)	0 教室	9 教室 多目的スペース(3) 多目的室(2) 集会スペース(1) 特別支援教室(3)
利用可能最大教室数(①+②)	33 教室	40 教室	33 教室
(最大収容児童数)	(1,155 人)	(1,400 人)	(1,155 人)
改修による教室数の増加の余地	改修による教室数の増加の余地あり。	改修により、多目的室(2)・図工室(1)・アセンブリースペース(2)・みらいステージ(1)・視聴覚室(1)・特別支援教室(1)・体育館ギャリースペース(2)の空間を、普通教室(10 教室)としたため、教室数の増加の余地なし。	改修による教室数の増加の余地あり。

◆陽光台小学校



◆(仮称)富士見ヶ丘小学校



③みらい平地区における生徒の通学環境の現状

平成 28 年 5 月現在、みらい平地区に居住する中学生生徒は、伊奈中及び谷和原中の選択制となっています。

ア) みらい平地区における生徒数の現状と通学区の現状

みらい平地区から、伊奈中及び谷和原中へ通学している生徒は平成 28 年 5 月現在において、それぞれ、10 人、151 人となっています。みらい平地区から伊奈中と谷和原中へ通学する生徒数の割合は、約 1 : 9 となっています。

◆表-みらい平地区から通う生徒数 (※学校教育課)

	中 1 12 歳	中 2 13 歳	中 3 14 歳	合計
2016 (H28) 年度 全体	72 人	47 人	42 人	161 人
伊奈中	6 人	1 人	3 人	10 人
谷和原中	66 人	46 人	39 人	151 人

※みらい平地区から伊奈中及び谷和原中に通学する生徒については選択制となっている。なお、上記の生徒数については実数であり、住民基本台帳に基づく年齢別人口とは異なる。

	通学区域	通学区域図
中 学 校	みらい平地区の生徒は伊奈中学校と谷和原中学校の選択制となっている。	

イ) みらい平地区における通学区の現状と学校規模の状況

みらい平地区の生徒は、これまで伊奈中と谷和原中への選択制となっていることから、現状ではみらい平地区内においての町丁目などによる通学区域の線引きはありません。

施設規模は、普通教室数では伊奈中が谷和原中の2倍の26教室となっています。

下記に、伊奈中学校と谷和原中学校の概要を記します。

◆表-伊奈中及び谷和原中の概要

項目	伊奈中	谷和原中
校地面積	39, 226 (㎡)	24, 709 (㎡)
校舎延床面積(合計)	6, 043 (㎡)	3, 185 (㎡)
普通教室数・・・①	26 教室	13 教室
(生徒数)	(1, 040 人)	(520 人)
特別教室数	13 教室	8 教室
(うち転用可能教室数)・・・②	0 教室	0 教室
利用可能最大教室数(①+②)	26 教室	13 教室
(最大収容生徒数)	(1, 040 人)	(520 人)

◆伊奈中学校



◆谷和原中学校



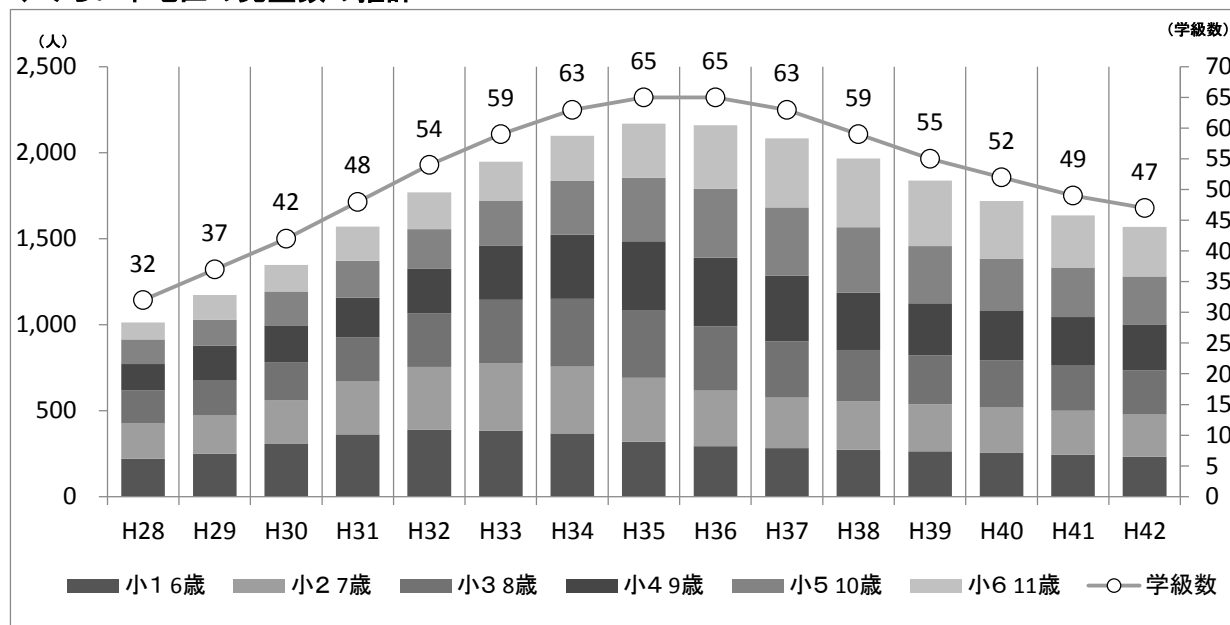
2. みらい平地区の児童・生徒数の推計について

1) みらい平地区の児童数の推計について

みらい平地区全体での推計によると、ピーク時となる平成 35 年のみらい平地区の児童数は 2,170 人（65 学級）となることが見込まれます。

（平成 28 年 7 月 学校教育課推計による。）

◆みらい平地区の児童数の推計



	小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	合計	学級数
2016.4.1(実績)	220	205	193	153	143	98	1,012	32
2017.4.1(H29)	249	223	206	198	153	144	1,173	37
2018.4.1(H30)	306	253	224	213	198	154	1,347	42
2019.4.1(H31)	362	309	255	231	213	199	1,570	48
2020.4.1(H32)	389	366	311	261	229	214	1,769	54
2021.4.1(H33)	384	393	367	316	260	229	1,949	59
2022.4.1(H34)	367	388	395	373	314	260	2,098	63
2023.4.1(H35)	320	371	391	403	370	315	2,170	65
2024.4.1(H36)	293	323	374	400	401	370	2,160	65
2025.4.1(H37)	281	295	327	381	399	401	2,084	63
2026.4.1(H38)	272	283	297	333	380	400	1,966	59
2027.4.1(H39)	263	274	285	302	333	382	1,839	55
2028.4.1(H40)	254	265	275	289	302	335	1,720	52
2029.4.1(H41)	244	255	266	279	288	303	1,635	49
2030.4.1(H42)	232	245	257	269	278	289	1,569	47

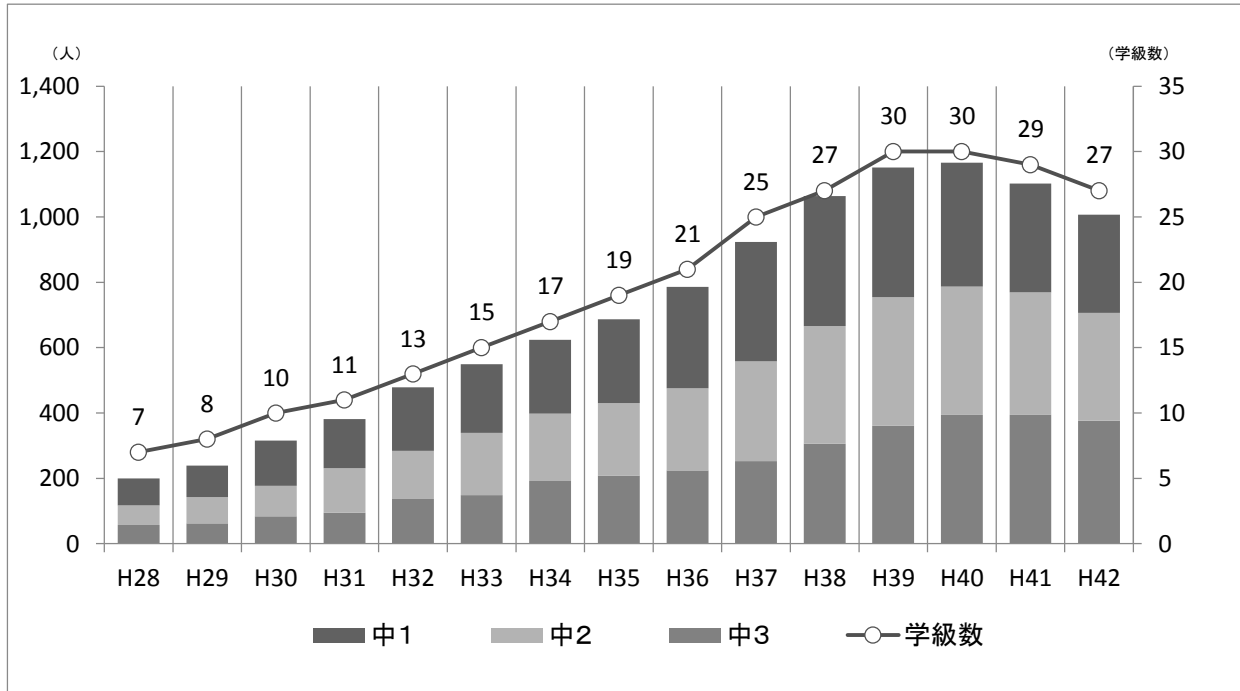
注 1) 学級数は、1学級 35 人で計算している。

注 2) 実績値は住民基本台帳人口による地区内の児童数。

2) みらい平地区の生徒数の推計について

みらい平地区全体での推計によると、平成 40 年のみらい平地区の生徒数は 1,166 人（30 学級）となることを見込まれます。ピーク時では、すべての生徒を既存の一つの中学校で受入ることは、不可能であり、みらい平地区から複数の中学校への通学が求められます。（平成 28 年 7 月 学校教育課推計による。）

◆みらい平地区の生徒数の推計



	中 1	中 2	中 3	合計	学級数
	12 歳	13 歳	14 歳		
2016. 4. 1 (実績)	83	60	57	200	7
2017. 4. 1 (H29)	96	81	62	239	8
2018. 4. 1 (H30)	139	93	84	316	10
2019. 4. 1 (H31)	150	136	95	381	11
2020. 4. 1 (H32)	195	147	137	479	13
2021. 4. 1 (H33)	210	190	149	549	15
2022. 4. 1 (H34)	226	206	192	624	17
2023. 4. 1 (H35)	257	222	208	687	19
2024. 4. 1 (H36)	310	252	224	786	21
2025. 4. 1 (H37)	365	305	253	923	25
2026. 4. 1 (H38)	398	360	306	1,064	27
2027. 4. 1 (H39)	397	393	361	1,151	30
2028. 4. 1 (H40)	379	393	394	1,166	30
2029. 4. 1 (H41)	333	375	394	1,102	29
2030. 4. 1 (H42)	301	330	376	1,007	27

注 1) 学級数は、1 年生は 1 学級 35 人で 3 学級以上となる場合は、1 学級 35 人で、それ以外及び 2、3 年生は 1 学級 40 人で計算している。

注 2) 実績値は住民基本台帳人口による地区内の生徒数。

※ 平成 28 年 7 月 学校教育課推計

本検討にあたって、直近のみらい平地区の実績人口を踏まえ、学校教育課独自で将来の人口推計を行い、児童生徒数の推移を算出したものである。

3. みらい平地区の通学区域の検討における考え方について

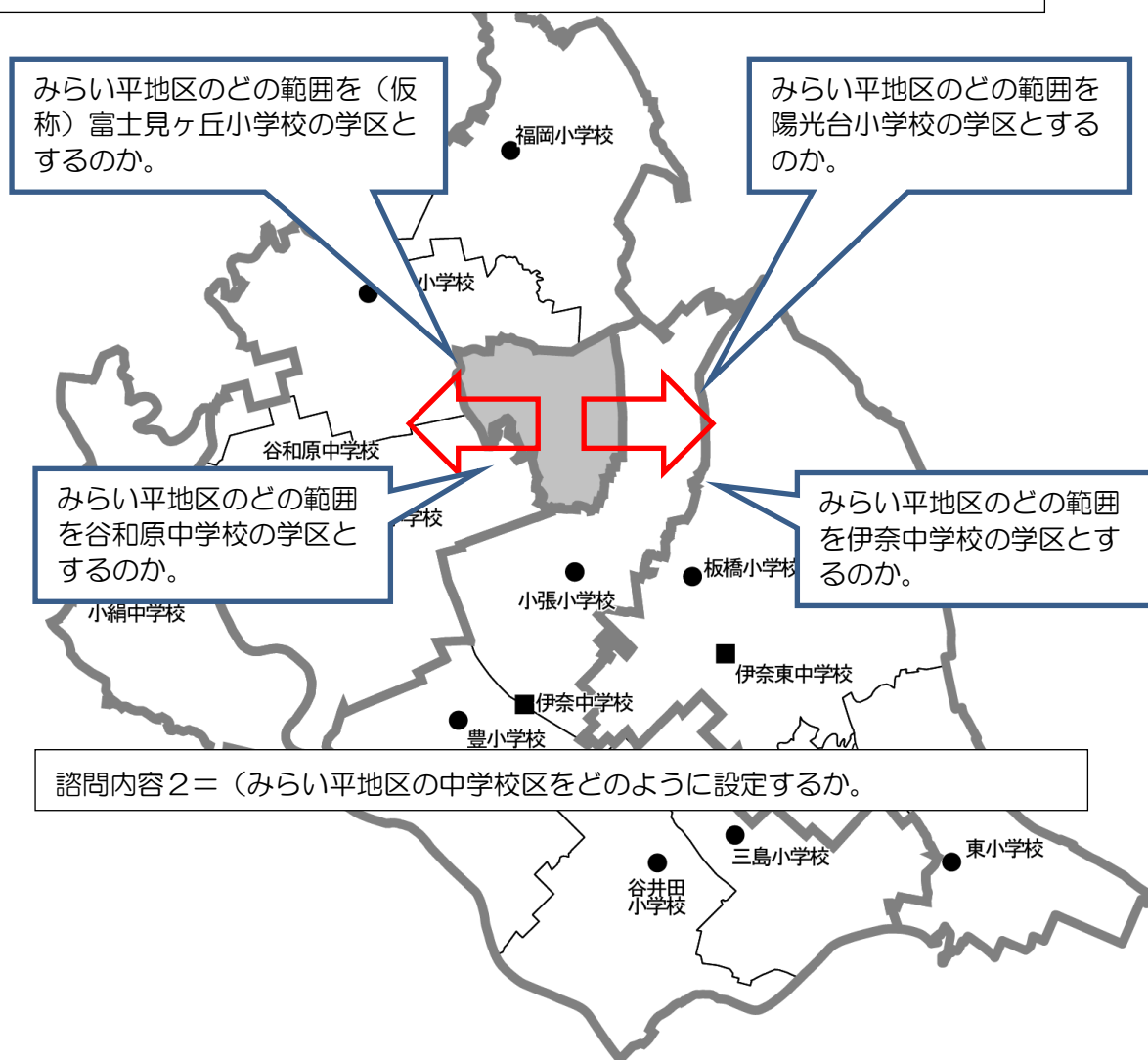
1) みらい平地区の通学区域の検討の背景

これまでは、みらい平地区の小学校は1校体制（みらい平地区＝陽光台小学校）でしたが、（仮称）富士見ヶ丘小学校が開校する時点（平成30年4月を予定）から、2校体制となります。さらに、中学校区域については、（仮称）富士見ヶ丘小学校の開校に合わせ、伊奈中及び谷和原中の選択制を廃止し、中学校通学区域の指定を行うこととなります。現状の選択制を継続していくと、谷和原中を選択する児童が約9割近くある現状を踏まえると、既存の谷和原中の教室数では対応できなくなる恐れがあります。

さらに、みらい平地区の一部の地域住民から学区に関する要望が出ていることなども考慮し、地域の思いについても配慮する必要があります。

このようなことも踏まえ、みらい平地区において陽光台小学校に通う学区と（仮称）富士見ヶ丘小学校に通う学区の境界部及び伊奈中学校に通う学区と谷和原中学校に通う学区の境界部について結論を出していく必要があります。

諮問内容1＝（仮称）富士見ヶ丘小学校の学区をどのように設定するか。



（参考）適正配置基本計画における記述

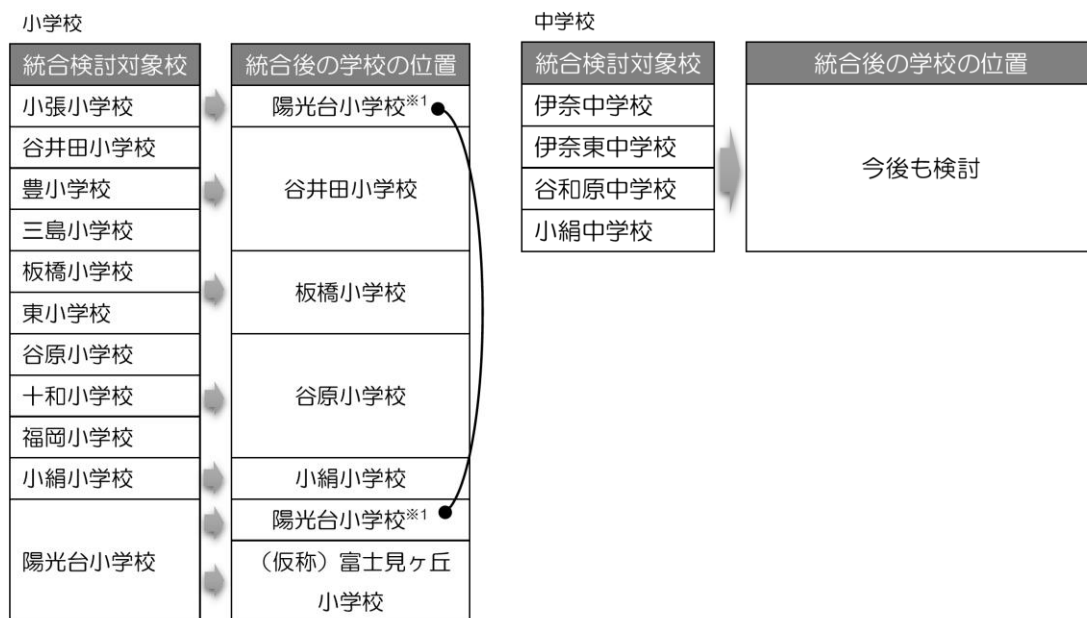
（１）再編対象校

義務教育施設の適正配置に関する基本的な考え方に基づき、学校の再編を検討した結果、現在の11校から6校へ再編します。

なお、義務教育9年間を見通した教育活動の展開を長期的に目指しながら、現時点においては、既存の4中学校を前提として、小学校の適正配置を考えてきました。

そのため、みらい平地区内の中学校については、土地利用計画により中学校用地が確保されていることから、今後も引き続き検討していくことが望ましいと考えます。

■適正配置後の小学校



※1：陽光台小学校の一部と小張小学校が統合する。

※適正配置基本計画において、陽光台小学校は、今後、一部の児童は（仮称）富士見ヶ丘小の開校とともに移り、さらに、陽光台小と小張小との再編を示しており、適正配置計画の方針も踏まえながら、区域案の検討を行なっていくこととします。

2) みらい平地区の通学区域についての考え方

本市の教育の基本方針である「つくばみらい いきいきプラン」を踏まえつつ、みらい平地区における通学区域の考え方を以下に示します。

つくばみらい いきいきプラン 4つの子ども像

- | | |
|---------------|---------------------|
| ○明るいあいさつのできる子 | ○本をたくさん読む子 |
| ○物や資源を大切に使う子 | ○「早寝早起き朝ごはん」を実践できる子 |

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「生きる力」を伸ばします
一知・徳・体のバランスのとれた個性豊かな子どもの育成に努めます。 ・子どもの学ぶ場を整えます
一安全・安心な教育環境の整備推進に努めます。 ・子どもの自立と社会参加を目指します
一特別支援教育、幼児教育の充実推進に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校・教職員の力を高めます
一教職員研修を充実させ、開かれた学校づくりを目指します。 ・生涯学習を支えます
一子どもから大人へ、生涯にわたり学ぶ機会を設けます。 |
|--|--|

これらを踏まえ、みらい平地区における通学区域に関する基本的な考え方を以下に示します。

《みらい平地区の通学区域（案）を考えていく上での基本的な視点》

（仮称）富士見ヶ丘小学校区を考えていく上での視点

視点1 児童(生徒)の教育環境を考えた通学区域とする⇒ 増加分を分担し過大な学校をつくらない
一みらい平地区の人口増加は想定を超えた増加となっています。今後人口増加が見込まれる地区の児童生徒を片方の学校だけで負担すれば、学校の教育環境の質にも影響しかねません。将来の児童生徒の増加分を2つの学校で分担し、極端に過大な学校をつくらないように配慮しながら、適切な通学区域を考えていく必要があります。

視点2 通学距離や通学時間、通学の安全性などを考慮する ⇒ 適正な通学環境を考える

一通学距離や通学時間、通学の安全性など、全体的な視点に基づいて通学環境を考えていく必要があります。そのため、2つの学区における通学環境に関して、総合的に適正さが確保できるよう通学区域を考えていく必要があります。

視点3 地域コミュニティを考慮したわかりやすい通学区域とする⇒ 現在・将来の居住者にも配慮する

一複雑な線形による通学区域の設定は、現在住まわれている方々だけでなく将来転入者となる方々にとっても、わかりにくく、不都合に感じる面が多々あります。できれば、住居表示や地形地物による分けとすることが望ましいと考えます。一通学区を分けた際に、人口の充足度の高い学校区とそうでない学校区の格差が大きいと、みらい平全体のコミュニティの熟度*が高まりません。みらい平地区全体のコミュニティ形成の底上げを考慮した通学区域を検討する必要があります。
※コミュニティの熟度は、街区の人口充足度（＝ある街区の現在定住人口÷ある街区の計画人口）との関連性が高いと考えられます。例えば、人口充足度の高いところは、新たに転入する人口もそれほど多くなく、転入者同士の関わりも深くなっていると考えられるため、街区内のコミュニティの熟度は高いと思われます。

みらい平地区の中学校区を考えていく上での視点

視点1 (児童)生徒の教育環境を考えた通学区域とする⇒ 増加分を分担し過大な学校をつくらない

視点2 通学距離や通学時間、通学の安全性などを考慮する ⇒ 適正な通学環境を考える

視点3 わかりやすい通学区域とする⇒ 居住者のみならず将来の居住者に対しても配慮する

※視点1、視点2、視点3は「（仮称）富士見ヶ丘小学校区を考えていく上での視点」と同じ考え方とします。

視点4 小中へのスムーズな学校生活を大切にする。⇒ 小学校区域との整合性を図る

一中1ギャップなど小学校から中学校への移行での課題が指摘されています。このことから考えても、基本的には、小学校区域と同じ線引きで中学校区域はあるべきだと考えます。

視点5 既存中学校を活用した案で考える。⇒ 既存中学校のキャパシティを考慮した通学区域とする

一みらい平地区内の中学校については、土地利用計画により中学校用地が確保されていることから、今後も引き続き検討していくことが望ましいと考えとしています。当面は既存中学校を活用する必要があり、既存中学校を活用した際に、中学校のキャパシティを超えない通学区域とすることが大切です。

4. みらい平地区の小学校の通学区域（案）及び評価

まずは、みらい平地区の小学校の通学区域（案）の評価を行いました。

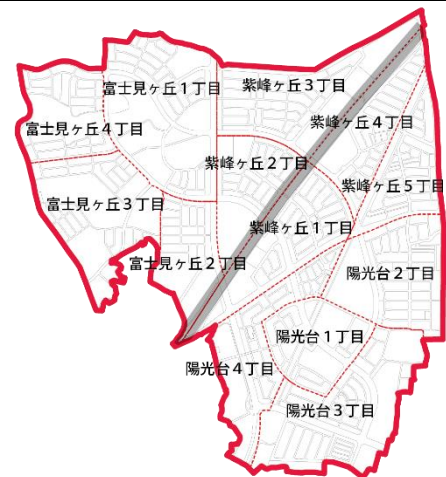
通学区域（案）としては、常磐自動車道で分割（区域案1）、県道で分割（区域案2）、県道及びつくばエクスプレスで分割（区域案3）、都市軸道路で分割（区域案4）が考えられます。

■みらい平地区の小学校通学区域（案）

案の種類	通学区域
区域案1 …常磐自動車道で分割する案	■陽光台小学校区※補足1 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘1・4・5丁目 ■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 富士見ヶ丘1～4丁目、紫峰ヶ丘2・3丁目
区域案2 …県道で分割する案	■陽光台小学校区※補足1 陽光台1～4丁目 ■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 紫峰ヶ丘1～5丁目、富士見ヶ丘1～4丁目
区域案3 …県道及びつくばエクスプレスで分割する案	■陽光台小学校区※補足1 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘5丁目 ■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 富士見ヶ丘1～4丁目、紫峰ヶ丘1～4丁目
区域案4 …都市軸道路で分割する案	■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 富士見ヶ丘1～4丁目 ■陽光台小学校区※補足1 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘1～5丁目

※補足1：適正配置基本計画においては、陽光台小学校区と小張小学校区が統合する案となっておりますが、「①現段階では陽光台小と小張小の統合時期も決まっていないこと」「②統合の話し合いについては、本年度から具体的に進めていく手順となっていること」など具体的な方向性は定まっていないことから、既存地区との統合に関する条件は考えずに検討を行っていくこととします。

区域案 1



【学校区（案）】

陽光台小

⇒ 陽光台1～4丁目, 紫峰ヶ丘1, 4, 5丁目

（仮称）富士見ヶ丘小

⇒ 富士見ヶ丘1～4丁目, 紫峰ヶ丘2, 3丁目

【将来児童数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案1			
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小	
		児童数	学級数	児童数	学級数
6歳	小1	159	5	146	5
7歳	小2	136	4	117	4
8歳	小3	126	4	99	3
9歳	小4	132	4	80	3
10歳	小5	131	4	67	2
11歳	小6	107	4	47	2
小学校計		791	25	556	19

H35		区域案1			
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小	
		児童数	学級数	児童数	学級数
6歳	小1	183	6	137	4
7歳	小2	210	7	161	5
8歳	小3	204	6	187	6
9歳	小4	185	6	218	7
10歳	小5	182	6	188	6
11歳	小6	159	5	155	5
小学校計		1,124	36	1,046	33

H40		区域案1			
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小	
		児童数	学級数	児童数	学級数
6歳	小1	143	5	111	4
7歳	小2	149	5	116	4
8歳	小3	154	5	121	4
9歳	小4	161	5	128	4
10歳	小5	169	5	133	4
11歳	小6	187	6	147	5
小学校計		963	31	757	25

【将来児童数(指定校変更児童数を含む)】

H30		区域案1			
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小	
		児童数	学級数	児童数	学級数
6歳	小1	168	5	149	5
7歳	小2	146	5	121	4
8歳	小3	135	4	101	3
9歳	小4	143	5	82	3
10歳	小5	138	4	69	2
11歳	小6	116	4	49	2
小学校計		846	27	571	19

H35		区域案1			
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小	
		児童数	学級数	児童数	学級数
6歳	小1	190	6	140	4
7歳	小2	217	7	161	5
8歳	小3	209	6	193	6
9歳	小4	193	6	221	7
10歳	小5	188	6	192	6
11歳	小6	168	5	159	5
小学校計		1,166	36	1,066	33

H40		区域案1			
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小	
		児童数	学級数	児童数	学級数
6歳	小1	149	5	115	4
7歳	小2	155	5	119	4
8歳	小3	160	5	125	4
9歳	小4	168	5	131	4
10歳	小5	176	6	136	4
11歳	小6	194	6	151	5
小学校計		1,002	32	776	25

【参考:中学校区域(案)】

【将来生徒数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案1			
中学校区		①伊奈中		②谷和原中	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数
12歳	中1	14	1	125	4
13歳	中2	9	1	84	3
14歳	中3	8	1	75	2
中学校計		31	3	284	9

H35		区域案1			
中学校区		①伊奈中		②谷和原中	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数
12歳	中1	134	4	123	4
13歳	中2	123	4	99	3
14歳	中3	129	4	79	2
中学校計		386	12	301	9

H40		区域案1			
中学校区		①伊奈中		②谷和原中	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数
12歳	中1	208	6	171	5
13歳	中2	199	5	194	5
14歳	中3	178	5	216	6
中学校計		585	16	581	16

【将来生徒数(既存地区を含む)】

H30		区域案1			
中学校区		①伊奈中		②谷和原中	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数
12歳	中1	106	4	173	5
13歳	中2	105	3	113	3
14歳	中3	113	3	119	3
中学校計		324	10	405	11

H35		区域案1			
中学校区		①伊奈中		②谷和原中	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数
12歳	中1	230	7	162	5
13歳	中2	221	6	131	4
14歳	中3	229	6	121	4
中学校計		680	19	414	13

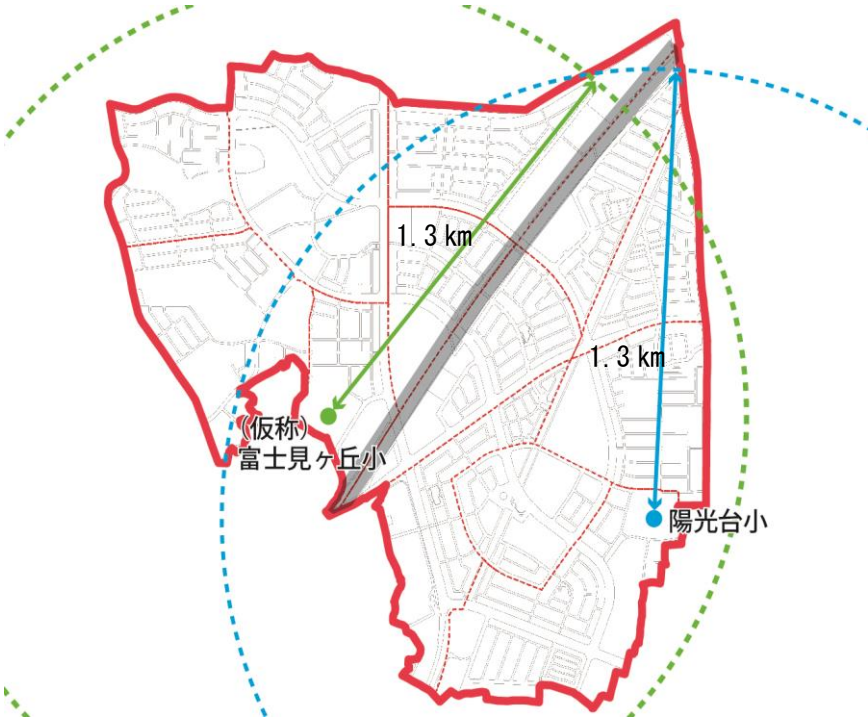
H40		区域案1			
中学校区		①伊奈中		②谷和原中	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数
12歳	中1	280	8	186	6
13歳	中2	277	7	231	6
14歳	中3	247	7	247	7
中学校計		804	22	664	19

※計算上、児童数、生徒数の数字は小数点を含む数字となることから、小学校計、中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

※平成29年から平成31年までは、現在の選択制の影響が続くと想定し、現在の通学割合を考慮した数値としたため、平成30年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

※(仮称)富士見ヶ丘小の平成30年度以降は、小学校隣接地区(東櫛戸、西櫛戸、田村)の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計しました。

■みらい平地区の小学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴																																																									
区域案 1 …常磐自動車道で分割する案	■陽光台小学校区 陽光台1～4丁目 紫峰ヶ丘1, 4, 5丁目 ■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 紫峰ヶ丘2, 3丁目 富士見ヶ丘1～4丁目	視点1 →陽光台小及び(仮称)富士見ヶ丘小は、最大でも許容範囲内。両校の児童数の偏りが少ない。 平成30年以降をみると、陽光台小は余剰状態が続き、学級数が最大37学級となるも、3教室の余剰が確保できる。(仮称)富士見ヶ丘小は、学級数が最大33学級となり、平成34年から平成36年までの3年間は余剰教室が確保できない状態となる。 視点2 →最長通学距離をみると、陽光台小：1.3km（仮称)富士見ヶ丘小：1.3kmとなり、その差0kmと差が最も少ない。 視点3 →常磐道というわかりやすい区切りである。陽光台小人口充足率73%（仮称)富士見ヶ丘小人口充足率55%であり 格差は19ポイントである。																																																									
		充足率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域案1</th><th>計画人口</th><th>H28実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>陽光台1丁目</td><td>1,898.7</td><td>1,731.0</td></tr> <tr><td>陽光台2丁目</td><td>2,783.7</td><td>2,122.0</td></tr> <tr><td>陽光台3丁目</td><td>2,118.1</td><td>1,503.0</td></tr> <tr><td>陽光台4丁目</td><td>1,088.0</td><td>786.0</td></tr> <tr><td>紫峰ヶ丘1丁目</td><td>1,105.4</td><td>669.0</td></tr> <tr><td>紫峰ヶ丘4丁目</td><td>1,169.2</td><td>687.0</td></tr> <tr><td>紫峰ヶ丘5丁目</td><td>913.3</td><td>609.0</td></tr> <tr><td>計</td><td>11,076.3</td><td>8,107.0</td></tr> <tr><td>充足率(陽光台小)</td><td></td><td>73%</td></tr> <tr><td>紫峰ヶ丘2丁目</td><td>863.0</td><td>677.0</td></tr> <tr><td>紫峰ヶ丘3丁目</td><td>1,722.5</td><td>1,205.0</td></tr> <tr><td>富士見ヶ丘1丁目</td><td>1,231.8</td><td>576.0</td></tr> <tr><td>富士見ヶ丘2丁目</td><td>691.6</td><td>354.0</td></tr> <tr><td>富士見ヶ丘3丁目</td><td>1,387.6</td><td>470.0</td></tr> <tr><td>富士見ヶ丘4丁目</td><td>1,132.3</td><td>559.0</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,028.9</td><td>3,841.0</td></tr> <tr><td>充足率((仮称)富士見ヶ丘小)</td><td></td><td>55%</td></tr> <tr><td>格差</td><td></td><td>19%</td></tr> </tbody> </table> ※ある学区の人口充足率＝該当学区の現在定住人口÷該当学区の計画人口 で計算している。	区域案1	計画人口	H28実績値	陽光台1丁目	1,898.7	1,731.0	陽光台2丁目	2,783.7	2,122.0	陽光台3丁目	2,118.1	1,503.0	陽光台4丁目	1,088.0	786.0	紫峰ヶ丘1丁目	1,105.4	669.0	紫峰ヶ丘4丁目	1,169.2	687.0	紫峰ヶ丘5丁目	913.3	609.0	計	11,076.3	8,107.0	充足率(陽光台小)		73%	紫峰ヶ丘2丁目	863.0	677.0	紫峰ヶ丘3丁目	1,722.5	1,205.0	富士見ヶ丘1丁目	1,231.8	576.0	富士見ヶ丘2丁目	691.6	354.0	富士見ヶ丘3丁目	1,387.6	470.0	富士見ヶ丘4丁目	1,132.3	559.0	計	7,028.9	3,841.0	充足率((仮称)富士見ヶ丘小)		55%	格差		19%
区域案1	計画人口	H28実績値																																																									
陽光台1丁目	1,898.7	1,731.0																																																									
陽光台2丁目	2,783.7	2,122.0																																																									
陽光台3丁目	2,118.1	1,503.0																																																									
陽光台4丁目	1,088.0	786.0																																																									
紫峰ヶ丘1丁目	1,105.4	669.0																																																									
紫峰ヶ丘4丁目	1,169.2	687.0																																																									
紫峰ヶ丘5丁目	913.3	609.0																																																									
計	11,076.3	8,107.0																																																									
充足率(陽光台小)		73%																																																									
紫峰ヶ丘2丁目	863.0	677.0																																																									
紫峰ヶ丘3丁目	1,722.5	1,205.0																																																									
富士見ヶ丘1丁目	1,231.8	576.0																																																									
富士見ヶ丘2丁目	691.6	354.0																																																									
富士見ヶ丘3丁目	1,387.6	470.0																																																									
富士見ヶ丘4丁目	1,132.3	559.0																																																									
計	7,028.9	3,841.0																																																									
充足率((仮称)富士見ヶ丘小)		55%																																																									
格差		19%																																																									

区域案2



【学校区（案）】

陽光台小

⇒ 陽光台1～4丁目

（仮称）富士見ヶ丘小

⇒ 紫峰ヶ丘1～5丁目，富士見ヶ丘1～4丁目

【将来児童数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案2					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	124	4	182	6	306	10
7歳 小2	97	3	156	5	253	8
8歳 小3	86	3	138	4	224	7
9歳 小4	102	3	110	4	213	7
10歳 小5	99	3	99	3	198	6
11歳 小6	88	3	65	2	154	5
小学校計	596	19	751	24	1,347	43

H35	区域案2					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	123	4	197	6	320	10
7歳 小2	136	4	235	7	371	11
8歳 小3	132	4	259	8	391	12
9歳 小4	119	4	284	9	403	13
10歳 小5	127	4	243	7	370	11
11歳 小6	122	4	193	6	315	10
小学校計	759	24	1,411	43	2,170	67

H40	区域案2					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	96	3	158	5	254	8
7歳 小2	100	3	165	5	265	8
8歳 小3	103	3	172	5	275	8
9歳 小4	109	4	180	6	289	10
10歳 小5	113	4	189	6	302	10
11歳 小6	123	4	212	7	335	11
小学校計	644	21	1,076	34	1,720	55

【将来児童数（指定校変更児童数を含む）】

H30	区域案2					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	133	4	185	6	318	10
7歳 小2	107	4	160	5	267	9
8歳 小3	95	3	140	5	235	8
9歳 小4	113	4	112	4	226	8
10歳 小5	106	4	101	3	207	7
11歳 小6	97	3	68	2	165	5
小学校計	651	22	766	25	1,417	47

H35	区域案2					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	130	4	200	6	330	10
7歳 小2	143	5	236	7	379	12
8歳 小3	137	4	265	8	402	12
9歳 小4	127	4	287	9	414	13
10歳 小5	133	4	247	8	380	12
11歳 小6	131	4	196	6	327	10
小学校計	801	25	1,431	44	2,232	69

H40	区域案2					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	102	3	161	5	263	8
7歳 小2	106	4	167	5	273	9
8歳 小3	109	4	175	5	284	9
9歳 小4	116	4	184	6	299	10
10歳 小5	120	4	192	6	312	10
11歳 小6	130	4	215	7	345	11
小学校計	683	23	1,095	34	1,778	57

【参考：中学校区域（案）】

【将来生徒数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案2					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	14	1	125	4	139	5
13歳 中2	9	1	84	3	93	4
14歳 中3	8	1	75	2	83	3
中学校計	31	3	284	9	315	12

H35	区域案2					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	94	3	163	5	257	8
13歳 中2	85	3	137	4	222	7
14歳 中3	99	3	108	3	207	6
中学校計	278	9	408	12	686	21

H40	区域案2					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	132	4	247	8	379	12
13歳 中2	127	4	266	7	393	11
14歳 中3	115	3	279	7	394	10
中学校計	374	11	792	22	1,166	33

【将来生徒数（既存地区を含む）】

H30	区域案2					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	106	4	173	5	279	9
13歳 中2	105	3	113	3	218	6
14歳 中3	113	3	119	3	232	6
中学校計	324	10	405	11	729	21

H35	区域案2					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	190	6	202	6	392	12
13歳 中2	182	5	169	5	351	10
14歳 中3	200	5	150	4	350	9
中学校計	572	16	521	15	1,093	31

H40	区域案2					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	204	6	262	8	466	14
13歳 中2	205	6	304	8	509	14
14歳 中3	184	5	310	8	494	13
中学校計	593	17	876	24	1,469	41

※計算上，児童数，生徒数の数字は小数点を含む数字となることから，小学校計，中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

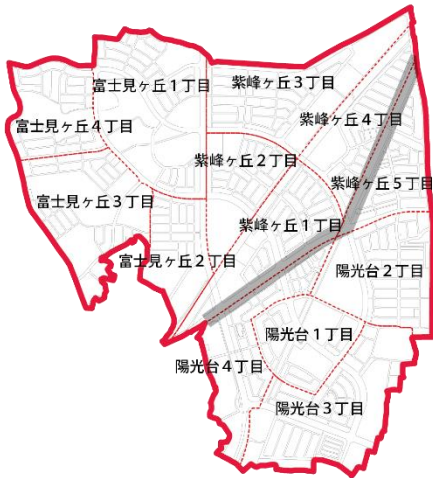
※平成 29 年から平成 31 年までは，現在の選択制の影響が続くと想定し，現在の通学割合を考慮した数値としたため，平成 30 年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

※（仮称）富士見ヶ丘小の平成 30 年度以降は，小学校隣接地区（東橋戸，西橋戸，田村）の全ての児童が指定校変更により通うと想定し，推計しました。

■みらい平地区の小学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴																																																												
区域案2 …県道で分割 する案	■陽光台小学校区 陽光台1～4丁目 ■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 富士見ヶ丘1～4丁目 紫峰ヶ丘1～5丁目	視点1 →陽光台小は、最大でも許容範囲内。(仮称)富士見ヶ丘小は許容範囲を超え、両校の児童数の偏りが非常に大きい。 平成30年以降をみると、陽光台小は余剰状態が続き、学級数が最大25学級となるも、15教室の余剰が確保できる。(仮称)富士見ヶ丘小は学級数が最大44学級となり、平成32年以降、不足状態が続き、最大11教室不足となる。 視点2 →最長通学距離をみると、陽光台小：1km (仮称)富士見ヶ丘小：1.5kmとなり、その差0.5kmと差が最も大きい。 視点3 →県道つくば野田線というわかりやすい区切りである。陽光台小人口充足率78% (仮称)富士見ヶ丘小人口充足率57%であり 格差は21ポイントである。																																																												
		<table><tr><th colspan="3">充足率</th></tr><tr><th>区域案2</th><th>計画人口</th><th>H28実績値</th></tr><tr><td>陽光台1丁目</td><td>1,898.7</td><td>1,731.0</td></tr><tr><td>陽光台2丁目</td><td>2,783.7</td><td>2,122.0</td></tr><tr><td>陽光台3丁目</td><td>2,118.1</td><td>1,503.0</td></tr><tr><td>陽光台4丁目</td><td>1,088.0</td><td>786.0</td></tr><tr><td>計</td><td>7,888.5</td><td>6,142.0</td></tr><tr><td>充足率(陽光台小)</td><td colspan="2">78%</td></tr><tr><td>紫峰が丘1丁目</td><td>1,105.4</td><td>669.0</td></tr><tr><td>紫峰が丘2丁目</td><td>863.0</td><td>677.0</td></tr><tr><td>紫峰が丘3丁目</td><td>1,722.5</td><td>1,205.0</td></tr><tr><td>紫峰が丘4丁目</td><td>1,169.2</td><td>687.0</td></tr><tr><td>紫峰が丘5丁目</td><td>913.3</td><td>609.0</td></tr><tr><td>富士見ヶ丘1丁目</td><td>1,231.8</td><td>576.0</td></tr><tr><td>富士見ヶ丘2丁目</td><td>691.6</td><td>354.0</td></tr><tr><td>富士見ヶ丘3丁目</td><td>1,387.6</td><td>470.0</td></tr><tr><td>富士見ヶ丘4丁目</td><td>1,132.3</td><td>559.0</td></tr><tr><td>計</td><td>10,216.7</td><td>5,806.0</td></tr><tr><td>充足率((仮称)富士見ヶ丘小)</td><td colspan="2">57%</td></tr><tr><td>格差</td><td colspan="2">21%</td></tr></table> ※ある学区の人口充足率＝該当学区の現在定住人口÷該当学区の計画人口 で計算している。	充足率			区域案2	計画人口	H28実績値	陽光台1丁目	1,898.7	1,731.0	陽光台2丁目	2,783.7	2,122.0	陽光台3丁目	2,118.1	1,503.0	陽光台4丁目	1,088.0	786.0	計	7,888.5	6,142.0	充足率(陽光台小)	78%		紫峰が丘1丁目	1,105.4	669.0	紫峰が丘2丁目	863.0	677.0	紫峰が丘3丁目	1,722.5	1,205.0	紫峰が丘4丁目	1,169.2	687.0	紫峰が丘5丁目	913.3	609.0	富士見ヶ丘1丁目	1,231.8	576.0	富士見ヶ丘2丁目	691.6	354.0	富士見ヶ丘3丁目	1,387.6	470.0	富士見ヶ丘4丁目	1,132.3	559.0	計	10,216.7	5,806.0	充足率((仮称)富士見ヶ丘小)	57%		格差	21%	
充足率																																																														
区域案2	計画人口	H28実績値																																																												
陽光台1丁目	1,898.7	1,731.0																																																												
陽光台2丁目	2,783.7	2,122.0																																																												
陽光台3丁目	2,118.1	1,503.0																																																												
陽光台4丁目	1,088.0	786.0																																																												
計	7,888.5	6,142.0																																																												
充足率(陽光台小)	78%																																																													
紫峰が丘1丁目	1,105.4	669.0																																																												
紫峰が丘2丁目	863.0	677.0																																																												
紫峰が丘3丁目	1,722.5	1,205.0																																																												
紫峰が丘4丁目	1,169.2	687.0																																																												
紫峰が丘5丁目	913.3	609.0																																																												
富士見ヶ丘1丁目	1,231.8	576.0																																																												
富士見ヶ丘2丁目	691.6	354.0																																																												
富士見ヶ丘3丁目	1,387.6	470.0																																																												
富士見ヶ丘4丁目	1,132.3	559.0																																																												
計	10,216.7	5,806.0																																																												
充足率((仮称)富士見ヶ丘小)	57%																																																													
格差	21%																																																													

区域案 3



【学校区（案）】

陽光台小

⇒ 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘5丁目

（仮称）富士見ヶ丘小

⇒ 富士見ヶ丘1～4丁目、紫峰ヶ丘1～4丁目

【将来児童数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案3					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	132	4	174	5	306	9
7歳 小2	113	4	140	4	253	8
8歳 小3	97	3	127	4	224	7
9歳 小4	112	4	101	3	213	7
10歳 小5	111	4	87	3	198	7
11歳 小6	96	3	58	2	154	5
小学校計	661	22	686	21	1,347	43

H35	区域案3					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	139	4	181	6	320	10
7歳 小2	154	5	217	7	371	12
8歳 小3	149	5	243	7	391	12
9歳 小4	141	5	262	8	403	13
10歳 小5	144	5	226	7	370	12
11歳 小6	131	4	184	6	315	10
小学校計	857	28	1,312	41	2,170	69

H40	区域案3					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	109	4	145	5	254	9
7歳 小2	113	4	151	5	265	9
8歳 小3	117	4	158	5	275	9
9歳 小4	123	4	166	5	289	9
10歳 小5	128	4	174	5	302	9
11歳 小6	139	4	195	6	335	10
小学校計	731	24	989	31	1,720	55

【将来児童数（指定校変更児童数を含む）】

H30	区域案3					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	141	5	177	6	318	11
7歳 小2	123	4	144	5	267	9
8歳 小3	106	4	129	4	235	8
9歳 小4	123	4	103	3	226	7
10歳 小5	118	4	89	3	207	7
11歳 小6	105	3	60	2	165	5
小学校計	716	24	701	23	1,417	47

H35	区域案3					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	146	5	184	6	330	11
7歳 小2	161	5	218	7	379	12
8歳 小3	154	5	249	8	402	13
9歳 小4	149	5	265	8	414	13
10歳 小5	150	5	230	7	380	12
11歳 小6	140	4	187	6	327	10
小学校計	899	29	1,332	42	2,232	71

H40	区域案3					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	115	4	148	5	263	9
7歳 小2	119	4	154	5	273	9
8歳 小3	123	4	161	5	284	9
9歳 小4	130	4	169	5	299	9
10歳 小5	135	4	177	6	312	10
11歳 小6	146	5	198	6	345	11
小学校計	770	25	1,008	32	1,778	57

【参考：中学校区域（案）】

【将来生徒数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案3					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	14	1	125	4	139	5
13歳 中2	9	1	84	3	93	4
14歳 中3	8	1	75	2	83	3
中学校計	31	3	284	9	315	12

H35	区域案3					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	110	4	147	5	257	9
13歳 中2	96	3	126	4	222	7
14歳 中3	109	3	99	3	208	6
中学校計	315	10	372	12	687	22

H40	区域案3					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	150	5	229	7	379	12
13歳 中2	143	4	249	7	392	11
14歳 中3	135	4	259	7	394	11
中学校計	428	13	737	21	1,165	34

【将来生徒数（既存地区を含む）】

H30	区域案3					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	106	4	173	5	279	9
13歳 中2	105	3	113	3	218	6
14歳 中3	113	3	119	3	232	6
中学校計	324	10	405	11	729	21

H35	区域案3					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	206	6	187	6	393	12
13歳 中2	194	5	157	4	351	9
14歳 中3	209	6	141	4	350	10
中学校計	609	17	485	14	1,094	31

H40	区域案3					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	222	7	244	7	466	14
13歳 中2	221	6	287	8	508	14
14歳 中3	204	6	290	8	494	14
中学校計	647	19	821	23	1,468	42

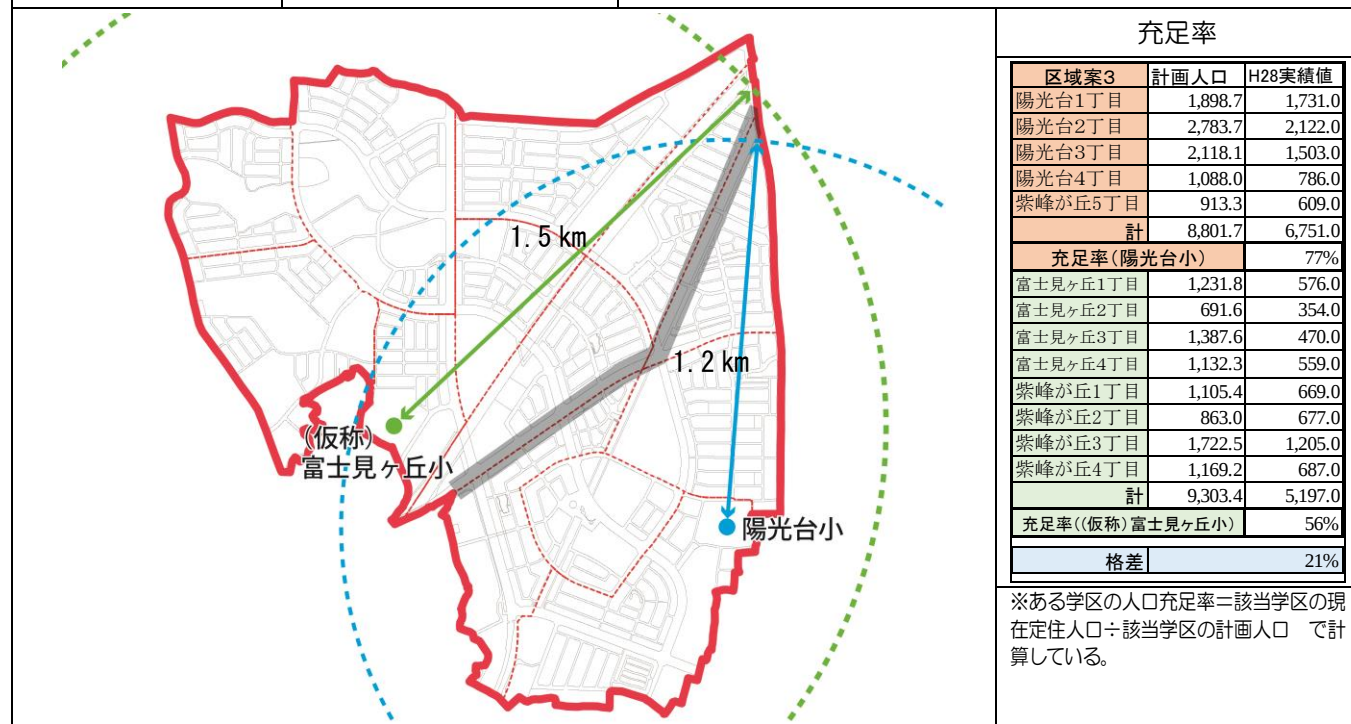
※計算上、児童数、生徒数の数字は小数点を含む数字となることから、小学校計、中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

※平成29年から平成31年までは、現在の選択制の影響が続くと想定し、現在の通学割合を考慮した数値としたため、平成30年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

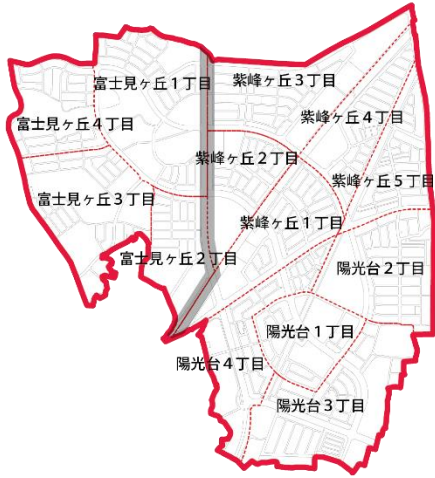
※（仮称）富士見ヶ丘小の平成30年度以降は、小学校隣接地区（東橋戸、西橋戸、田村）の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計しました。

■みらい平地区の小学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴
区域案3 …県道及びつくばエクスプレスで分割する案	■陽光台小学校区 陽光台1～4丁目 紫峰ヶ丘5丁目 ■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 富士見ヶ丘1～4丁目 紫峰ヶ丘1～4丁目	視点1 →陽光台小は、最大でも許容範囲内。(仮称)富士見ヶ丘小は許容範囲を超え、両校の児童数の偏りが比較的ある。 平成30年以降をみると、陽光台小は余剰状態が続き、学級数が最大29学級となるも11教室の余剰が確保できる。(仮称)富士見ヶ丘小は学級数が最大 42 学級となり、平成33年以降、不足状態が続き、最大 9 教室の不足となる。 視点2 →最長通学距離をみると、陽光台小：1.2km (仮称)富士見ヶ丘小：1.5kmとなり、その差0.3kmと差が2番目に大きい。 視点3 →県道つくば野田線とつくばエクスプレスと2つの要素で区切られる。紫峰ヶ丘5の学区に混乱を招く恐れがある。陽光台小人口充足率77% (仮称)富士見ヶ丘小人口充足率56%であり 格差は21ポイントである。



区域案 4



【学校区（案）】

陽光台小

⇒ 陽光台1～4丁目，紫峰ヶ丘1～5丁目

（仮称）富士見ヶ丘小

⇒ 富士見ヶ丘1～4丁目

【将来児童数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案4					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	227	7	79	3	306	10
7歳 小2	188	6	65	2	253	8
8歳 小3	186	6	38	2	224	8
9歳 小4	169	5	44	2	213	7
10歳 小5	163	5	35	2	198	7
11歳 小6	133	4	21	1	154	5
小学校計	1,065	33	282	12	1,347	45

H35	区域案4					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	231	7	89	3	320	10
7歳 小2	266	8	105	4	371	12
8歳 小3	274	8	117	4	391	12
9歳 小4	290	9	113	4	403	13
10歳 小5	259	8	111	4	370	12
11歳 小6	228	7	87	3	315	10
小学校計	1,548	47	622	22	2,170	69

H40	区域案4					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	180	6	74	3	254	9
7歳 小2	188	6	77	3	265	9
8歳 小3	195	6	81	3	275	9
9歳 小4	204	6	84	3	289	9
10歳 小5	214	7	88	3	302	10
11歳 小6	236	7	98	3	335	10
小学校計	1,217	38	502	18	1,720	56

【将来児童数（指定校変更児童数を含む）】

H30	区域案4					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	236	7	82	3	318	10
7歳 小2	198	6	69	2	267	8
8歳 小3	195	6	40	2	235	8
9歳 小4	180	6	46	2	226	8
10歳 小5	170	5	37	2	207	7
11歳 小6	142	5	23	1	165	6
小学校計	1,120	35	297	12	1,417	47

H35	区域案4					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	238	7	92	3	330	10
7歳 小2	273	8	106	4	379	12
8歳 小3	279	8	123	4	402	12
9歳 小4	298	9	116	4	414	13
10歳 小5	265	8	115	4	380	12
11歳 小6	237	7	90	3	327	10
小学校計	1,590	47	642	22	2,232	69

H40	区域案4					
	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
小学校区	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	186	6	77	3	263	9
7歳 小2	194	6	80	3	273	9
8歳 小3	201	6	84	3	284	9
9歳 小4	211	7	88	3	299	10
10歳 小5	221	7	91	3	312	10
11歳 小6	243	7	102	3	345	10
小学校計	1,256	39	522	18	1,778	57

【参考：中学校区域（案）】

【将来生徒数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案4					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	14	1	125	4	139	5
13歳 中2	9	1	84	3	93	4
14歳 中3	8	1	75	2	83	3
中学校計	31	3	284	9	315	12

H35	区域案4					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	187	6	70	2	257	8
13歳 中2	180	5	42	2	222	7
14歳 中3	163	5	45	2	208	7
中学校計	530	16	157	6	687	22

H40	区域案4					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	264	8	115	4	379	12
13歳 中2	269	7	123	4	392	11
14歳 中3	278	7	116	3	394	10
中学校計	811	22	354	11	1,165	33

【将来生徒数（既存地区を含む）】

H30	区域案4					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	106	4	173	5	279	9
13歳 中2	105	3	113	3	218	6
14歳 中3	113	3	119	3	232	6
中学校計	324	10	405	11	729	21

H35	区域案4					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	282	9	110	4	392	13
13歳 中2	278	7	73	2	351	9
14歳 中3	263	7	87	3	350	10
中学校計	823	23	270	9	1,093	32

H40	区域案4					
	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
中学校区	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	336	10	130	4	466	14
13歳 中2	347	9	161	5	508	14
14歳 中3	348	9	147	4	495	13
中学校計	1,031	28	438	13	1,469	41

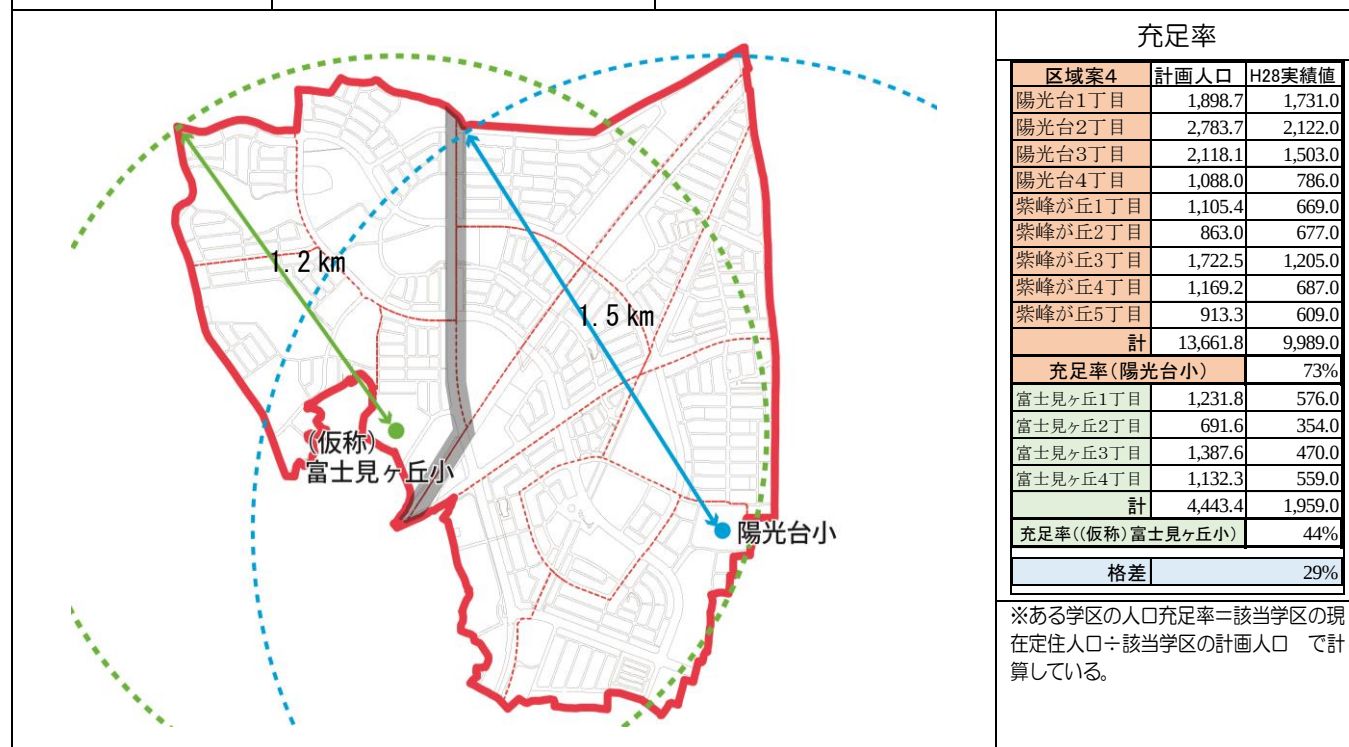
※計算上、児童数、生徒数の数字は小数点を含む数字となることから、小学校計、中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

※平成 29 年から平成 31 年までは、現在の選択制の影響が続くと想定し、現在の通学割合を考慮した数値としたため、平成 30 年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

※（仮称）富士見ヶ丘小の平成 30 年度以降は、小学校隣接地区（東橋戸，西橋戸，田村）の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計しました。

■みらい平地区の小学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴
区域案4 …都市軸道路で分割する案	■陽光台小学校区 陽光台1～4丁目 紫峰ヶ丘1～5丁目 ■(仮称)富士見ヶ丘小学校区 富士見ヶ丘1～4丁目	視点1 →陽光台小は許容範囲を超え、（仮称）富士見ヶ丘小は許容範囲内となり、両校の児童数の偏りが大きい。 平成30年以降をみると、陽光台小は学級数が最大48学級となり、平成32年以降、不足状態が続き、最大8教室の不足となる。（仮称）富士見ヶ丘小は余剰状態が続き、学級数が最大22学級となるも11教室の余剰が確保できる。 視点2 →最長通学距離をみると、陽光台小：1.5km（仮称）富士見ヶ丘小：1.2kmとなり、その差0.3kmと差が2番目に大きい。 視点3 →都市軸道路というわかりやすい区切りである。また町名でも区切られる。 陽光台小人口充足率 73% （仮称）富士見ヶ丘小人口充足率 44%であり 格差は29ポイントである。



【区域案4】都市軸道で区切る案

【区域案3】TXで区切る案

【区域案2】県道で区切る案

【区域案1】常磐道で区切る案

※H25・H28は通学児童数。
※H29以降は人口推計による児童数。
※※(仮称)富士見ヶ丘小の平成30年度以降は、小学校隣接地(東楢戸、西楢戸、田村)の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計した。
※陽光台小と小張小の平成29年度以降の推計児童数は、平成28年度の指定校変更児童数を考慮して反映させた。

22

5. みらい平地区の中学校の通学区域（案）及び評価

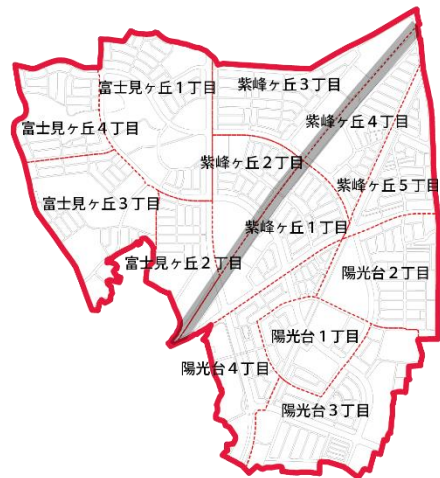
次に、みらい平地区の中学校の通学区域（案）の評価を行いました。現状では、伊奈中と谷和原中のどちらかを選ぶ選択制となっていますが、「みらい平地区の通学区域（案）を考えていく上での基本的な視点」における『視点4』を踏まえ、陽光台小学校及び（仮称）富士見ヶ丘小学校はそれぞれ伊奈中及び谷和原中に通うことを前提として評価を行いました。

このことにより、通学区域（案）としては、常磐自動車道で分割（区域案1）、県道で分割（区域案2）、県道及びつくばエクスプレスで分割（区域案3）、都市軸道路で分割（区域案4）が考えられます。

■みらい平地区の中学校通学区域（案）

案の種類	通学区域
区域案1 …常磐自動車道で分割する案	■伊奈中学校区（陽光台小、小張小、谷井田小、豊小、三島小） 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘1・4・5丁目 小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区 ■谷和原中学校区（（仮称）富士見ヶ丘小、谷原小、十和小、福岡小） 富士見ヶ丘1～4丁目、紫峰ヶ丘2・3丁目 谷原小学校区、十和小小学校区、福岡小学校区
区域案2 …県道で分割する案	■伊奈中学校区（陽光台小、小張小、谷井田小、豊小、三島小） 陽光台1～4丁目 小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区 ■谷和原中学校区（（仮称）富士見ヶ丘小、谷原小、十和小、福岡小） 紫峰ヶ丘1～5丁目、富士見ヶ丘1～4丁目 谷原小学校区、十和小小学校区、福岡小学校区
区域案3 …県道及びつくばエクスプレスで分割する案	■伊奈中学校区（陽光台小、小張小、谷井田小、豊小、三島小） 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘5丁目 小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区 ■谷和原中学校区（（仮称）富士見ヶ丘小、谷原小、十和小、福岡小） 富士見ヶ丘1～4丁目、紫峰ヶ丘1～4丁目 谷原小学校区、十和小小学校区、福岡小学校区
区域案4 …都市軸道路で分割する案	■伊奈中学校区（陽光台小、小張小、谷井田小、豊小、三島小） 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘1～5丁目 小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区 ■谷和原中学校区（（仮称）富士見ヶ丘小、谷原小、十和小、福岡小） 富士見ヶ丘1～4丁目 谷原小学校区、十和小小学校区、福岡小学校区

区域案 1



【学校区（案）】

伊奈中学校

⇒ 陽光台1～4丁目、紫峰ヶ丘1・4・5丁目、小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区

谷和原中学校

⇒ 富士見ヶ丘1～4丁目、紫峰ヶ丘2・3丁目、谷原小学校区、十和小小学校区、福岡小学校区

【参考:小学校区域(案)】

【将来児童数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案1					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		159	5	146	5	306	10
7歳 小2		136	4	117	4	253	8
8歳 小3		126	4	99	3	224	7
9歳 小4		132	4	80	3	213	7
10歳 小5		131	4	67	2	198	6
11歳 小6		107	4	47	2	154	6
小学校計		791	25	556	19	1,347	44

H35		区域案1					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		183	6	137	4	320	10
7歳 小2		210	7	161	5	371	12
8歳 小3		204	6	187	6	391	12
9歳 小4		185	6	218	7	403	13
10歳 小5		182	6	188	6	370	12
11歳 小6		159	5	155	5	315	10
小学校計		1,124	36	1,046	33	2,170	69

H40		区域案1					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		143	5	111	4	254	9
7歳 小2		149	5	116	4	265	9
8歳 小3		154	5	121	4	275	9
9歳 小4		161	5	128	4	289	9
10歳 小5		169	5	133	4	302	9
11歳 小6		187	6	147	5	335	11
小学校計		963	31	757	25	1,720	56

【将来児童数(指定校変更児童数を含む)】

H30		区域案1					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		168	5	149	5	318	10
7歳 小2		146	5	121	4	267	9
8歳 小3		135	4	101	3	235	7
9歳 小4		143	5	82	3	226	8
10歳 小5		138	4	69	2	207	6
11歳 小6		116	4	49	2	165	6
小学校計		846	27	571	19	1,417	46

H35		区域案1					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		190	6	140	4	330	10
7歳 小2		217	7	161	5	379	12
8歳 小3		209	6	193	6	402	12
9歳 小4		193	6	221	7	414	13
10歳 小5		188	6	192	6	380	12
11歳 小6		168	5	159	5	327	10
小学校計		1,166	36	1,066	33	2,232	69

H40		区域案1					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		149	5	115	4	263	9
7歳 小2		155	5	119	4	273	9
8歳 小3		160	5	125	4	284	9
9歳 小4		168	5	131	4	299	9
10歳 小5		176	6	136	4	312	10
11歳 小6		194	6	151	5	345	11
小学校計		1,002	32	776	25	1,778	57

【将来生徒数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案1					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		14	1	125	4	139	5
13歳 中2		9	1	84	3	93	4
14歳 中3		8	1	75	2	83	3
中学校計		31	3	284	9	315	12

H35		区域案1					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		134	4	123	4	257	8
13歳 中2		123	4	99	3	222	7
14歳 中3		129	4	79	2	208	6
中学校計		386	12	301	9	687	21

H40		区域案1					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		208	6	171	5	379	11
13歳 中2		199	5	194	5	393	10
14歳 中3		178	5	216	6	394	11
中学校計		585	16	581	16	1,166	32

【将来生徒数(既存地区を含む)】

H30		区域案1					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		106	4	173	5	279	9
13歳 中2		105	3	113	3	218	6
14歳 中3		113	3	119	3	232	6
中学校計		324	10	405	11	729	21

H35		区域案1					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		230	7	162	5	392	12
13歳 中2		221	6	131	4	352	10
14歳 中3		229	6	121	4	350	10
中学校計		680	19	414	13	1,094	32

H40		区域案1					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		280	8	186	6	466	14
13歳 中2		277	7	231	6	508	13
14歳 中3		247	7	247	7	494	14
中学校計		804	22	664	19	1,468	41

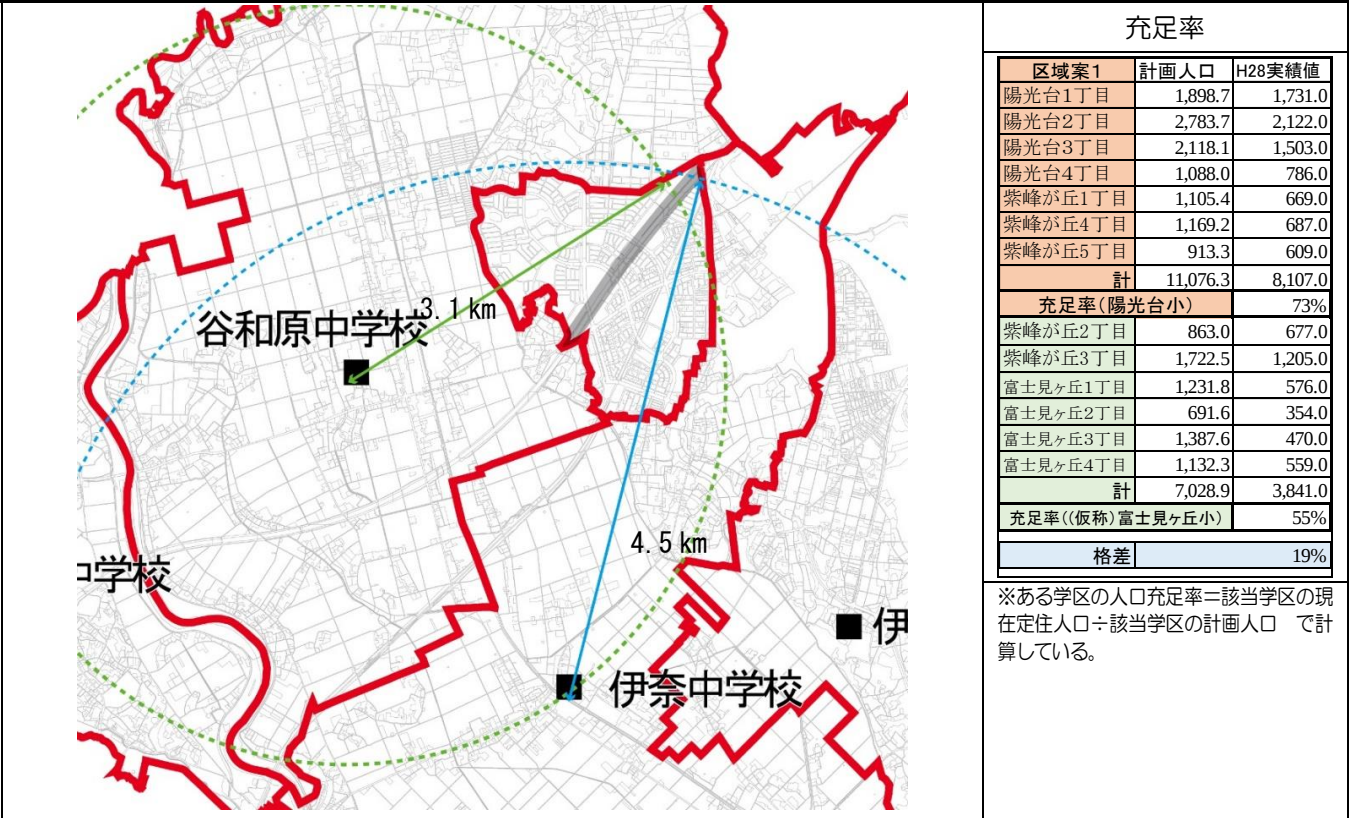
※計算上、児童数、生徒数の数字は小数点を含む数字となることから、小学校計、中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

※平成 29 年から平成 31 年までは、現在の選択制の影響が続くと想定し、現在の通学割合を考慮した数値としたため、平成 30 年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

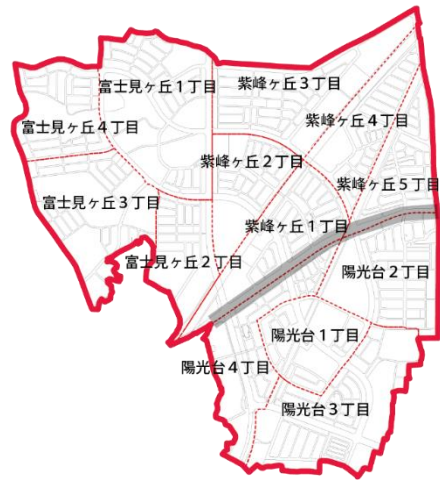
※(仮称)富士見ヶ丘小の平成 30 年度以降は、小学校隣接地区(東橋戸、西橋戸、田村)の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計しました。

■みらい平地区の中学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴
区域案 1 …常磐自動車道で 分割する案	■伊奈中学校区 陽光台 1～4丁目 紫峰ヶ丘 1, 4, 5丁目 小張小学校区, 谷井田小学校区, 豊小学校区, 三島小学校区 ■谷和原中学校区 紫峰ヶ丘 2, 3丁目 富士見ヶ丘 1～4丁目 谷原小学校区, 十和小学校区, 福岡小学校区	視点1 →伊奈中は, 最大でも許容範囲内。谷和原中は許容範囲を超え, 最大利用教室数でみると過不足教室数の偏りが大きい。平成 29 年以降, 伊奈中は余剰状態が続き, 学級数が最大 23 学級となるも3教室の余剰が確保できる。谷和原中は学級数が最大 20 学級となり, 平成 36 年以降, 不足状態が続き, 最大7教室不足となる。 視点2 →最長通学距離をみると伊奈中: 4.5 km 谷和原中: 3.1 kmとなり, その差 1.4 kmと差は3番目に少ない。 視点3 →常磐道というわかりやすい区切りである。陽光台小人口充足率 73% (仮称)富士見ヶ丘小人口充足率 55%であり 格差は 19 ポイントである。 視点4 →小・中学校の学区を同じとしたとき, 小学校については, 2 校とも許容範囲に収まる。 視点5 →平成 36 年以降, 谷和原中ではキャパシティを超え, さらにピーク時では 7 教室不足する。



区域案 2



【学校区（案）】

伊奈中学校

⇒ 陽光台 1～4丁目 小張小学校区, 谷井田小学校区, 豊小学校区, 三島小学校区

谷和原中学校

⇒ 紫峰ヶ丘 1～5丁目, 富士見ヶ丘 1～4丁目, 谷原小学校区, 十和小小学校区, 福岡小学校区

【参考: 小学校区域(案)】

【将来児童数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案2					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		124	4	182	6	306	10
7歳 小2		97	3	156	5	253	8
8歳 小3		86	3	138	4	224	7
9歳 小4		102	3	110	4	213	7
10歳 小5		99	3	99	3	198	6
11歳 小6		88	3	65	2	154	5
小学校計		596	19	751	24	1,347	43

H35		区域案2					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		123	4	197	6	320	10
7歳 小2		136	4	235	7	371	11
8歳 小3		132	4	259	8	391	12
9歳 小4		119	4	284	9	403	13
10歳 小5		127	4	243	7	370	11
11歳 小6		122	4	193	6	315	10
小学校計		759	24	1,411	43	2,170	67

H40		区域案2					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		96	3	158	5	254	8
7歳 小2		100	3	165	5	265	8
8歳 小3		103	3	172	5	275	8
9歳 小4		109	4	180	6	289	10
10歳 小5		113	4	189	6	302	10
11歳 小6		123	4	212	7	335	11
小学校計		644	21	1,076	34	1,720	55

【将来児童数(指定校変更児童数を含む)】

H30		区域案2					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		133	4	185	6	318	10
7歳 小2		107	4	160	5	267	9
8歳 小3		95	3	140	5	235	8
9歳 小4		113	4	112	4	226	8
10歳 小5		106	4	101	3	207	7
11歳 小6		97	3	68	2	165	5
小学校計		651	22	766	25	1,417	47

H35		区域案2					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		130	4	200	6	330	10
7歳 小2		143	5	236	7	379	12
8歳 小3		137	4	265	8	402	12
9歳 小4		127	4	287	9	414	13
10歳 小5		133	4	247	8	380	12
11歳 小6		131	4	196	6	327	10
小学校計		801	25	1,431	44	2,232	69

H40		区域案2					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		102	3	161	5	263	8
7歳 小2		106	4	167	5	273	9
8歳 小3		109	4	175	5	284	9
9歳 小4		116	4	184	6	299	10
10歳 小5		120	4	192	6	312	10
11歳 小6		130	4	215	7	345	11
小学校計		683	23	1,095	34	1,778	57

【将来生徒数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案2					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		14	1	125	4	139	5
13歳 中2		9	1	84	3	93	4
14歳 中3		8	1	75	2	83	3
中学校計		31	3	284	9	315	12

H35		区域案2					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		94	3	163	5	257	8
13歳 中2		85	3	137	4	222	7
14歳 中3		99	3	108	3	207	6
中学校計		278	9	408	12	686	21

H40		区域案2					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		132	4	247	8	379	12
13歳 中2		127	4	266	7	393	11
14歳 中3		115	3	279	7	394	10
中学校計		374	11	792	22	1,166	33

【将来生徒数(既存地区を含む)】

H30		区域案2					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		106	4	173	5	279	9
13歳 中2		105	3	113	3	218	6
14歳 中3		113	3	119	3	232	6
中学校計		324	10	405	11	729	21

H35		区域案2					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		190	6	202	6	392	12
13歳 中2		182	5	169	5	351	10
14歳 中3		200	5	150	4	350	9
中学校計		572	16	521	15	1,093	31

H40		区域案2					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		204	6	262	8	466	14
13歳 中2		205	6	304	8	509	14
14歳 中3		184	5	310	8	494	13
中学校計		593	17	876	24	1,469	41

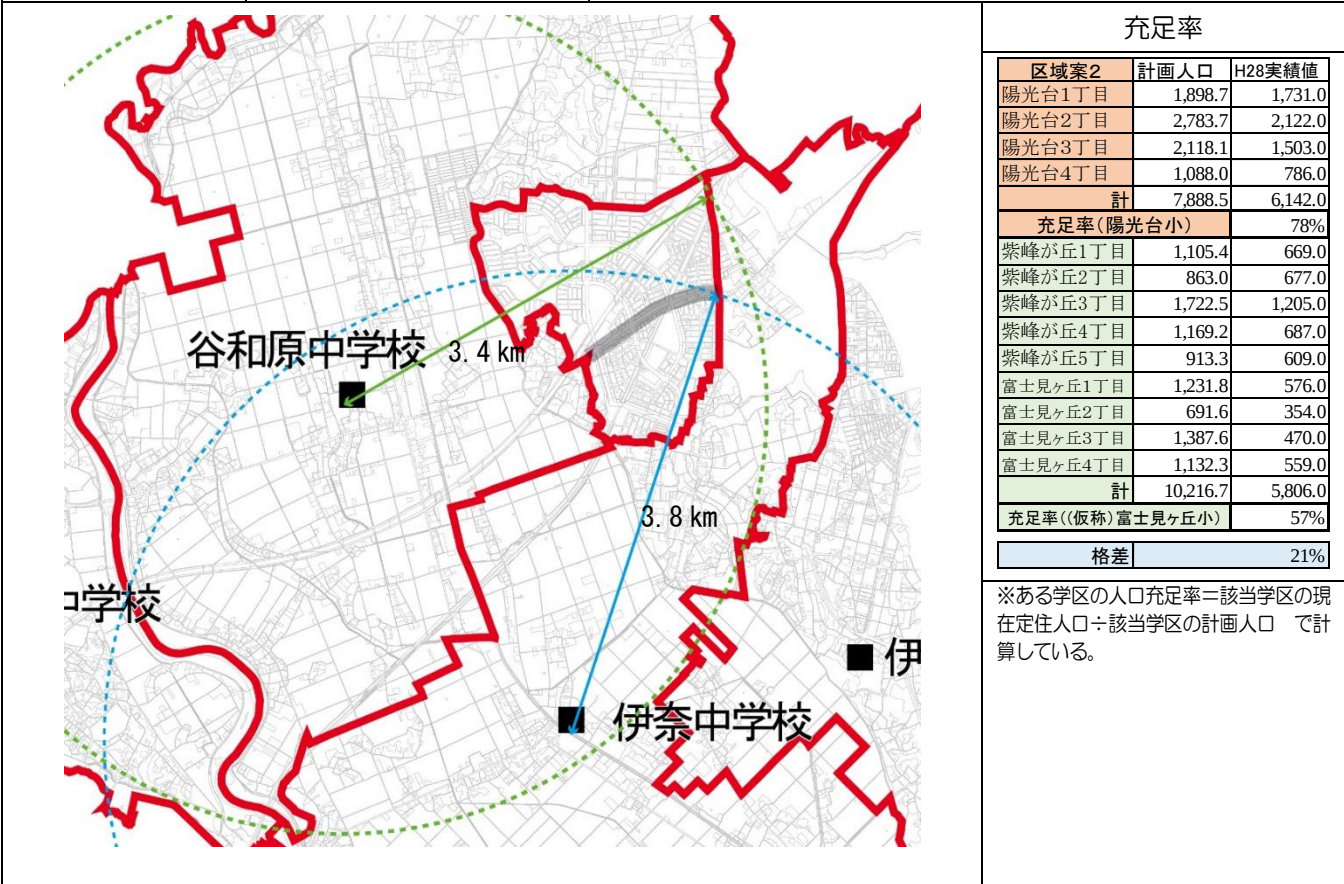
※計算上、児童数、生徒数の数字は小数点を含む数字となることから、小学校計、中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

※平成 29 年から平成 31 年までは、現在の選択制の影響が続くと想定し、現在の通学割合を考慮した数値としたため、平成 30 年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

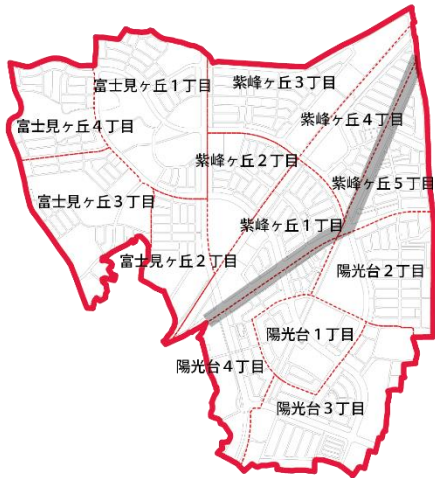
※(仮称)富士見ヶ丘小の平成 30 年度以降は、小学校隣接地区(東橋戸, 西橋戸, 田村)の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計しました。

■みらい平地区の中学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴
区域案2 …県道で分割する案	■伊奈中学校区 陽光台1～4丁目 小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区 ■谷和原中学校区 富士見ヶ丘1～4丁目 紫峰ヶ丘1～5丁目 谷原小学校区、十和小学校区、福岡小学校区	視点1 →伊奈中は、最大でも許容範囲内。谷和原中は許容範囲を超え、最大利用教室数でみると過不足教室数の偏りが非常に大きい。平成 29 年以降、伊奈中は余剰状態が続き、学級数が最大 18 学級となるも8教室の余剰が確保できる。谷和原中は学級数が最大 24 学級となり、平成 35 年以降、不足状態が続き、最大 11 教室不足となる。 視点2 →最長通学距離をみると伊奈中：3.8km 谷和原中：3.4kmとなり、その差 0.4kmと差は最も少ない。 視点3 →県道野田線というわかりやすい区切りである。陽光台小人口充足率 78%（仮称）富士見ヶ丘小人口充足率 57%であり 格差は 21 ポイントである。 視点4 →小・中学校の学区を同じとしたとき、小学校については、（仮称）富士見ヶ丘小学校で不足教室が生じる。 視点5 →平成 35 年以降、谷和原中ではキャパシティを超え、さらにピーク時では 11 教室不足する。



区域案 3



【学校区（案）】

伊奈中学校

⇒ 陽光台1～4丁目, 紫峰ヶ丘5丁目, 小張小学校区, 谷井田小学校区, 豊小学校区, 三島小学校区

谷和原中学校

⇒ 富士見ヶ丘1～4丁目, 紫峰ヶ丘1～4丁目, 谷原小学校区, 十和小学校区, 福岡小学校区

【参考: 小学校区域(案)】

【将来児童数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案3					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		132	4	174	5	306	9
7歳 小2		113	4	140	4	253	8
8歳 小3		97	3	127	4	224	7
9歳 小4		112	4	101	3	213	7
10歳 小5		111	4	87	3	198	7
11歳 小6		96	3	58	2	154	5
小学校計		661	22	686	21	1,347	43

H35		区域案3					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		139	4	181	6	320	10
7歳 小2		154	5	217	7	371	12
8歳 小3		149	5	243	7	391	12
9歳 小4		141	5	262	8	403	13
10歳 小5		144	5	226	7	370	12
11歳 小6		131	4	184	6	315	10
小学校計		857	28	1,312	41	2,170	69

H40		区域案3					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		109	4	145	5	254	9
7歳 小2		113	4	151	5	265	9
8歳 小3		117	4	158	5	275	9
9歳 小4		123	4	166	5	289	9
10歳 小5		128	4	174	5	302	9
11歳 小6		139	4	195	6	335	10
小学校計		731	24	989	31	1,720	55

【将来児童数(指定校変更児童数を含む)】

H30		区域案3					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		141	5	177	6	318	11
7歳 小2		123	4	144	5	267	9
8歳 小3		106	4	129	4	235	8
9歳 小4		123	4	103	3	226	7
10歳 小5		118	4	89	3	207	7
11歳 小6		105	3	60	2	165	5
小学校計		716	24	701	23	1,417	47

H35		区域案3					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		146	5	184	6	330	11
7歳 小2		161	5	218	7	379	12
8歳 小3		154	5	249	8	402	13
9歳 小4		149	5	265	8	414	13
10歳 小5		150	5	230	7	380	12
11歳 小6		140	4	187	6	327	10
小学校計		899	29	1,332	42	2,232	71

H40		区域案3					
小学校区		①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
		児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1		115	4	148	5	263	9
7歳 小2		119	4	154	5	273	9
8歳 小3		123	4	161	5	284	9
9歳 小4		130	4	169	5	299	9
10歳 小5		135	4	177	6	312	10
11歳 小6		146	5	198	6	345	11
小学校計		770	25	1,008	32	1,778	57

【将来生徒数(みらい平地区内のみ)】

H30		区域案3					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		14	1	125	4	139	5
13歳 中2		9	1	84	3	93	4
14歳 中3		8	1	75	2	83	3
中学校計		31	3	284	9	315	12

H35		区域案3					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		110	4	147	5	257	9
13歳 中2		96	3	126	4	222	7
14歳 中3		109	3	99	3	208	6
中学校計		315	10	372	12	687	22

H40		区域案3					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		150	5	229	7	379	12
13歳 中2		143	4	249	7	392	11
14歳 中3		135	4	259	7	394	11
中学校計		428	13	737	21	1,165	34

【将来生徒数(既存地区を含む)】

H30		区域案3					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		106	4	173	5	279	9
13歳 中2		105	3	113	3	218	6
14歳 中3		113	3	119	3	232	6
中学校計		324	10	405	11	729	21

H35		区域案3					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		206	6	187	6	393	12
13歳 中2		194	5	157	4	351	9
14歳 中3		209	6	141	4	350	10
中学校計		609	17	485	14	1,094	31

H40		区域案3					
中学校区		①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
		生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1		222	7	244	7	466	14
13歳 中2		221	6	287	8	508	14
14歳 中3		204	6	290	8	494	14
中学校計		647	19	821	23	1,468	42

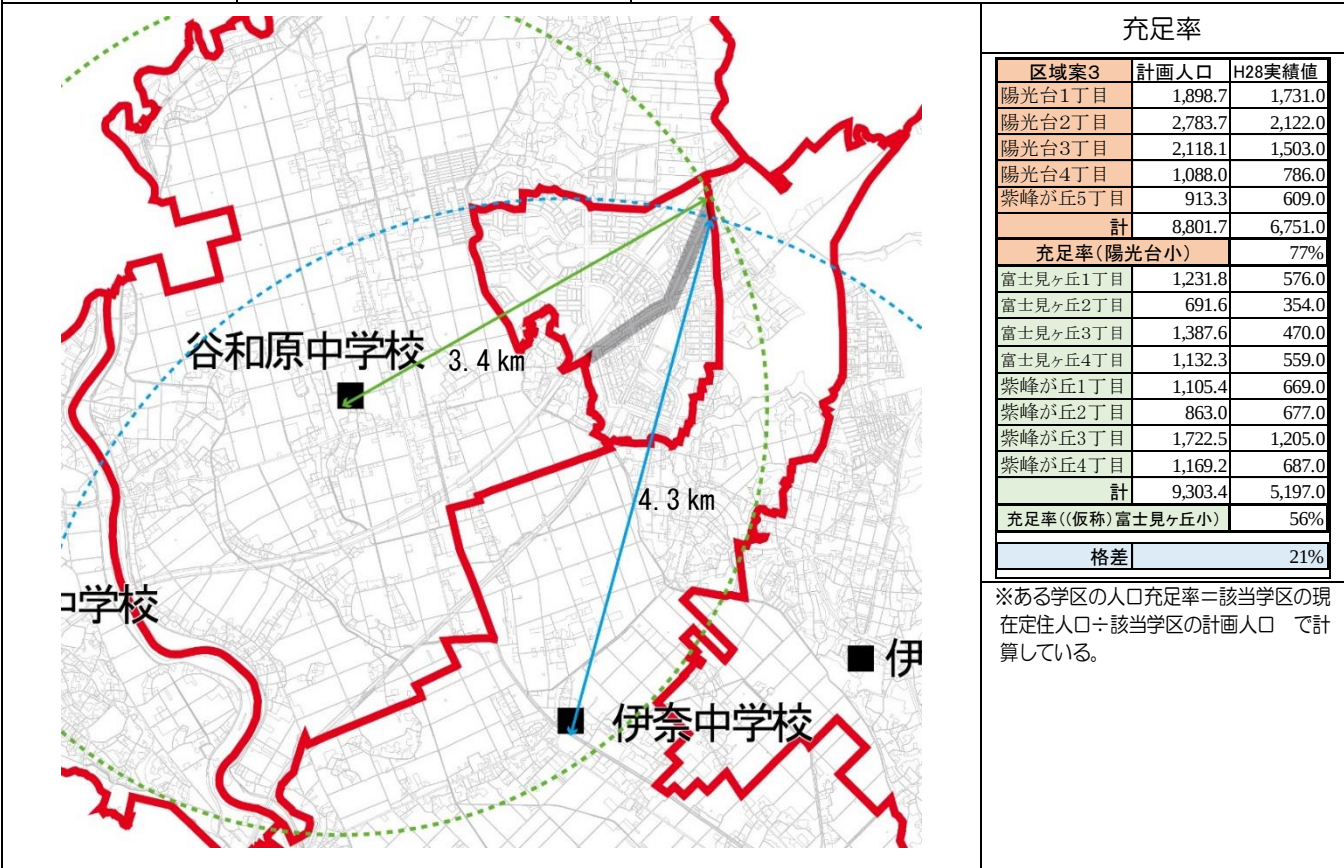
※計算上、児童数、生徒数の数字は小数点を含む数字となることから、小学校計、中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

※平成 29 年から平成 31 年までは、現在の選択制の影響が続くと想定し、現在の通学割合を考慮した数値としたため、平成 30 年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

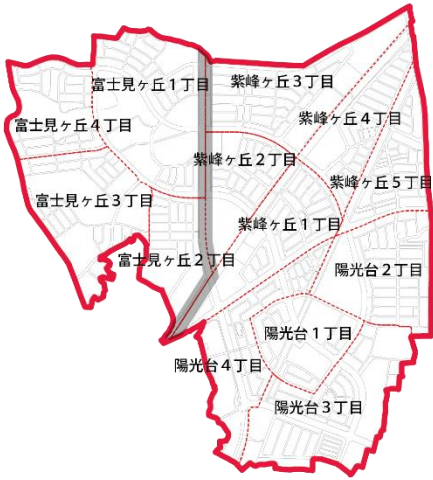
※(仮称)富士見ヶ丘小の平成 30 年度以降は、小学校隣接地区(東橋戸, 西橋戸, 田村)の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計しました。

■みらい平地区の中学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴
区域案3 …県道及びつくばエクスプレスで分割する案	■伊奈中学校区 陽光台1～4丁目 紫峰ヶ丘5丁目 小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区 ■谷和原中学校区 富士見ヶ丘1～4丁目 紫峰ヶ丘1～4丁目 谷原小学校区、十和小学校区、福岡小学校区	視点1 →伊奈中は、最大でも許容範囲内。谷和原中は許容範囲を超え、最大利用教室数でみると過不足教室数の偏りが大きい。平成29年以降、伊奈中は余剰状態が続き、学級数が最大19学級となるも7教室の余剰が確保できる。谷和原中は学級数が最大24学級となり、平成36年以降、不足状態が続き、最大11教室不足となる。 視点2 →最長通学距離をみると伊奈中：4.3km 谷和原中：3.4kmとなり、その差0.9kmと差は2番目に少ない。 視点3 →県道つくば野田線とつくばエクスプレスと2つの要素で区切られる。紫峰ヶ丘5の学区に混乱を招く恐れがある。陽光台小人口充足率77%（仮称）富士見ヶ丘小人口充足率56%であり 格差は21ポイントである。 視点4 →小・中学校の学区を同じとしたとき、小学校については、（仮称）富士見ヶ丘小学校で不足教室が生じる。 視点5 →平成35年以降、谷和原中ではキャパシティを超え、さらにピーク時では11教室不足する。



区域案 4



【学校区（案）】

伊奈中学校

⇒ 陽光台1～4丁目, 紫峰ヶ丘1～5丁目, 小張小学校区, 谷井田小学校区, 豊小学校区, 三島小学校区

谷和原中学校

⇒ 富士見ヶ丘1～4丁目, 谷原小学校区, 十和小学校区, 福岡小学校区

【参考: 小学校区域（案）】

【将来児童数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案4					
小学校区	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	227	7	79	3	306	10
7歳 小2	188	6	65	2	253	8
8歳 小3	186	6	38	2	224	8
9歳 小4	169	5	44	2	213	7
10歳 小5	163	5	35	2	198	7
11歳 小6	133	4	21	1	154	5
小学校計	1,065	33	282	12	1,347	45

H35	区域案4					
小学校区	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	231	7	89	3	320	10
7歳 小2	266	8	105	4	371	12
8歳 小3	274	8	117	4	391	12
9歳 小4	290	9	113	4	403	13
10歳 小5	259	8	111	4	370	12
11歳 小6	228	7	87	3	315	10
小学校計	1,548	47	622	22	2,170	69

H40	区域案4					
小学校区	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	180	6	74	3	254	9
7歳 小2	188	6	77	3	265	9
8歳 小3	195	6	81	3	275	9
9歳 小4	204	6	84	3	289	9
10歳 小5	214	7	88	3	302	10
11歳 小6	236	7	98	3	335	10
小学校計	1,217	38	502	18	1,720	56

【将来児童数（指定校変更児童数を含む）】

H30	区域案4					
小学校区	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	236	7	82	3	318	10
7歳 小2	198	6	69	2	267	8
8歳 小3	195	6	40	2	235	8
9歳 小4	180	6	46	2	226	8
10歳 小5	170	5	37	2	207	7
11歳 小6	142	5	23	1	165	6
小学校計	1,120	35	297	12	1,417	47

H35	区域案4					
小学校区	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	238	7	92	3	330	10
7歳 小2	273	8	106	4	379	12
8歳 小3	279	8	123	4	402	12
9歳 小4	298	9	116	4	414	13
10歳 小5	265	8	115	4	380	12
11歳 小6	237	7	90	3	327	10
小学校計	1,590	47	642	22	2,232	69

H40	区域案4					
小学校区	①陽光台小		②(仮)富士見ヶ丘小		合計児童数	合計学級数
	児童数	学級数	児童数	学級数		
6歳 小1	186	6	77	3	263	9
7歳 小2	194	6	80	3	273	9
8歳 小3	201	6	84	3	284	9
9歳 小4	211	7	88	3	299	10
10歳 小5	221	7	91	3	312	10
11歳 小6	243	7	102	3	345	10
小学校計	1,256	39	522	18	1,778	57

【将来生徒数（みらい平地区内のみ）】

H30	区域案4					
中学校区	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	14	1	125	4	139	5
13歳 中2	9	1	84	3	93	4
14歳 中3	8	1	75	2	83	3
中学校計	31	3	284	9	315	12

H35	区域案4					
中学校区	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	187	6	70	2	257	8
13歳 中2	180	5	42	2	222	7
14歳 中3	163	5	45	2	208	7
中学校計	530	16	157	6	687	22

H40	区域案4					
中学校区	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	264	8	115	4	379	12
13歳 中2	269	7	123	4	392	11
14歳 中3	278	7	116	3	394	10
中学校計	811	22	354	11	1,165	33

【将来生徒数（既存地区を含む）】

H30	区域案4					
中学校区	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	106	4	173	5	279	9
13歳 中2	105	3	113	3	218	6
14歳 中3	113	3	119	3	232	6
中学校計	324	10	405	11	729	21

H35	区域案4					
中学校区	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	282	9	110	4	392	13
13歳 中2	278	7	73	2	351	9
14歳 中3	263	7	87	3	350	10
中学校計	823	23	270	9	1,093	32

H40	区域案4					
中学校区	①伊奈中		②谷和原中		合計生徒数	合計学級数
	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
12歳 中1	336	10	130	4	466	14
13歳 中2	347	9	161	5	508	14
14歳 中3	348	9	147	4	495	13
中学校計	1,031	28	438	13	1,469	41

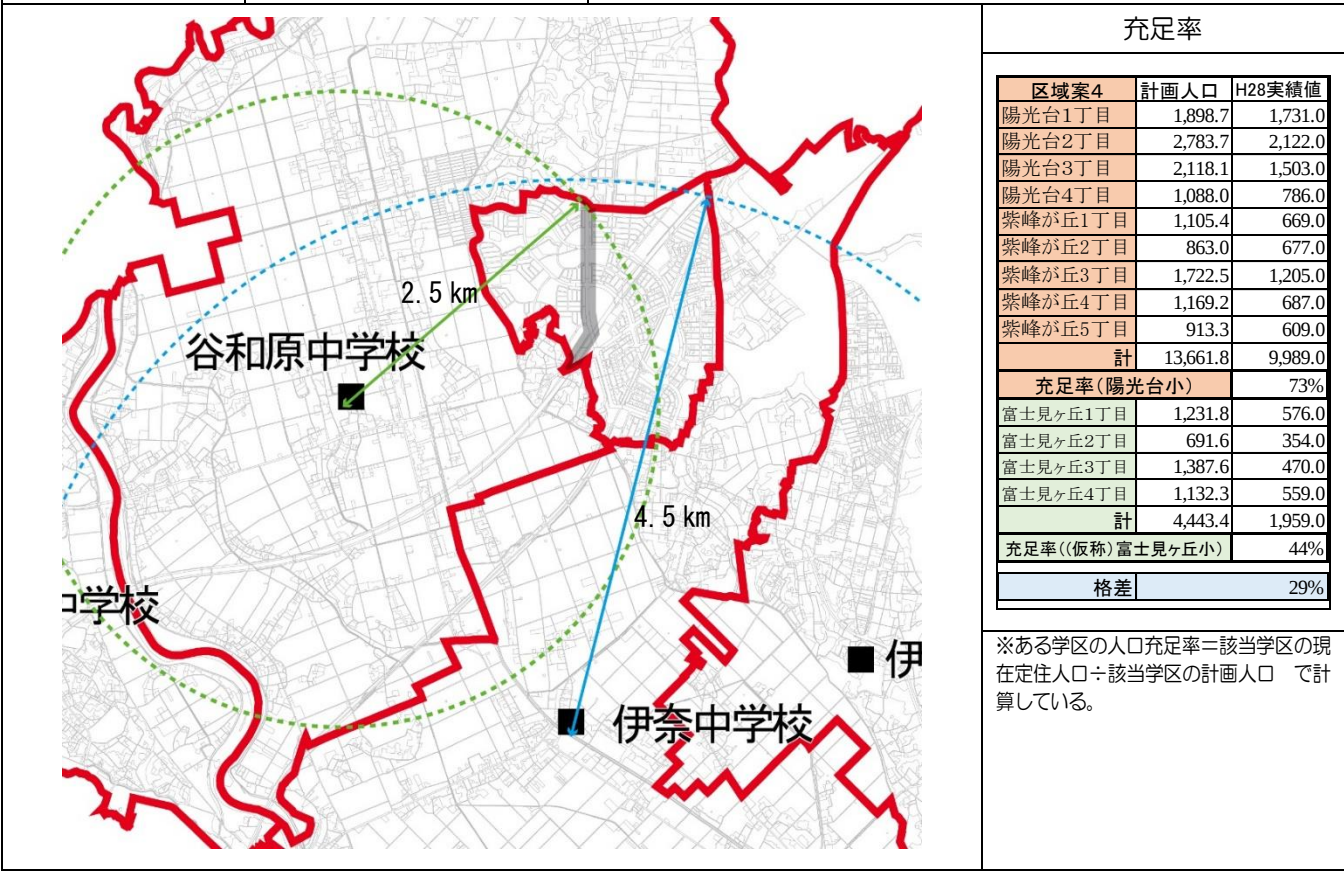
※計算上、児童数、生徒数の数字は小数点を含む数字となることから、小学校計、中学校計が各学年の合計と合わない場合があります。

※平成 29 年から平成 31 年までは、現在の選択制の影響が続くと想定し、現在の通学割合を考慮した数値としたため、平成 30 年の数値はいずれの区域案も同じ値となります。

※（仮称）富士見ヶ丘小の平成 30 年度以降は、小学校隣接地区（東櫛戸、西櫛戸、田村）の全ての児童が指定校変更により通うと想定し、推計しました。

■みらい平地区の中学校通学区域（案）の評価

案の種類	通学区域	特 徴
区域案4 …都市軸道路で分割する案	■伊奈中学校区 陽光台1～4丁目 紫峰ヶ丘1～5丁目 小張小学校区、谷井田小学校区、豊小学校区、三島小学校区 ■谷和原中学校区 富士見ヶ丘1～4丁目 谷原小学校区、十和小小学校区、福岡小学校区	視点1 →伊奈中は許容範囲を超え、谷和原中は許容範囲内。最大利用教室数でみると偏りが少ない。伊奈中は学級数が最大 29 学級となり、平成 38 年以降、不足状態が続き、最大 3 教室不足となる。谷和原中は学級数が最大 13 学級となるも許容範囲内に収まる。 視点2 →最長通学距離をみると、伊奈中：4.5 km 谷和原中：2.5 km となり、その差 2.0 km と差は最も広い。 視点3 →都市軸道路というわかりやすい区切りである。また町名でも区切られる。陽光台小人口充足率 73%（仮称）富士見ヶ丘小人口充足率 44% であり 格差は 29 ポイントである。 視点4 →小・中学校の学区を同じとしたとき、小学校については、陽光台小学校で不足教室が生じる。 視点5 →平成 38 年以降、伊奈中ではキャパシティを超え、さらにピーク時では 3 教室不足する。



■（参考）伊奈中・谷和原中通学区周辺図



